

インストール ガイド



10300747-000 Revision A

© 2008 Kofax Image Products, Inc., 16245 Laguna Canyon Road, Irvine, California 92618, U.S.A. All rights reserved. 使用許諾契約に従って、ご利用ください。

サードパーティ ソフトウェアは著作権で保護されており、Kofax のサプライヤーより使用が許諾されています。

本製品は、米国特許 No. 6,370,277 により保護されています。

本製品には KOFAX IMAGE PRODUCTS, INC. の機密情報が含まれています。KOFAX IMAGE PRODUCTS, INC. から書面による事前の許可を得た場合を除き、本製品の使用、開示、複製は禁じられています。

Kofax Image Products、Kofax、Kofax ロゴ、VirtualReScan、VRS VirtualReScan ロゴ、および VRS は、アメリカ合衆国およびその他の国における Kofax Image Products, Inc. の商標または登録商標です。その他の製品名、ロゴは各所有者の商標または登録商標です。

政府による使用は、Kofax Image Products, Inc. の標準の使用許諾契約および FAR 規定に従うものとします。

お客様は、適用される米国輸出管理法およびその他の規則により輸出または伝達が制限されている国へ、米国商務省輸出管理局、または管轄権のあるその他の政府機関から書面により事前に必要な許可を得ずに、直接的または間接的に、本ソフトウェア、関連ドキュメント、および技術データを輸出または伝達しないことに同意されたものとします。また、お客様は、そのような国に所在していないこと、国民または居住者ではないこと、管理下にないことを表明および保証するものとします。

本ドキュメントは " 現状のまま " 提供されます。商品性についての保証、権利を侵害していないという合法性保証、特定目的適合性についての保証を含む、すべての明示および黙示の条件、表現、および保証について、法的に無効と見なされる場合を除き、その責任を負わないものとします。

目次

このガイドの使い方 vii

はじめに vii
関連ドキュメント vii
トレーニング viii
Kofax テクニカル サポート ix

概要 1

はじめに 1
VRS の使用 2
VRS プロフェッショナル機能 3
VRS スキャナ : 動作保証されたスキャナと それ以外のスキャナ 3
VRS Component Installer 5
Adrenaline イメージ プロセス エンジン付き VRS の使用 6
管理者権限 6
システム要件 7
最小システム要件 7
推奨システム要件 7
TWAIN および ISIS について 8
USB および FireWire について 8
PCI スロットの要件 9
周辺機器のサポート 9
サポートするオペレーティング システム 9
動作保証されたインターフェイス 10
動作保証された SCSI スキャナ コントローラ 10
デスクトップ プロダクティビティ機能 10

インストールに関する注意事項 11
VRS と Kofax Capture 11

VRS のインストール 13

はじめに 13
インストール手順 14
VRS ソフトウェアのインストール 14
インストール後のライセンスのアクティベーション / 登録 30
インストール後の VRS プロフェッショナル ライセンスのアクティベーション 30
デモ モード 30
評価モード 31
インターネット未接続時の VRS ライセンスのアクティベーション 34
インストール後の VRS 基本ライセンスの登録 37
インターネット未接続時の VRS 基本ライセンスの登録 40
VRS ライセンスのアップグレード 42
SCSI スキャナ コントローラの取り付け 44
スキャナの取り付け 45
TWAIN のインストール 46
USB および FireWire のインストール 46
USB/FireWire ドライバ インストール後の操作 47
スキャナの接続の確認 48
新しいハードウェアの検出ウィザードによる設定 49
スキャニング アプリケーションのインストール 50
製品アップデートの確認 51
アップデートの自動確認 52
アップデートの手動確認 52
アップデートの確認、ダウンロード、およびインストール 53
製品アップデートのアンインストール 56

Adrenaline SCSI スキャナ コントローラのセットアップ 57

はじめに 57

ソフトウェアのインストール 57
SCSI スキャナ コントローラの取り付け 58
注意 58
スキャン ソースの作成と設定 60
VCDemo を使用したテスト 60

VRS のアンインストール 61

はじめに 61
VRS と関連したコンポーネントのアンインストール 61
インターネット未接続時の VRS ライセンスのアクティベーション解除 67

VCDemo の使用 71

はじめに 71
VCDemo の起動 72
ツールバー 74
[File] メニュー 75
[Source] メニュー 76
[View] メニュー 77
[Imaging] メニュー 78
[Help] メニュー 79

索引 81

このガイドの使い方

はじめに

「VirtualReScan インストール ガイド」は、VirtualReScan (VRS) を正常にインストールするために必要な情報を提供します。このガイドは、基本的なシステム要件の概要と、VRS をインストールするための手順について説明します。また、お使いのコンピュータに Adrenaline SCSI スキャナ コントローラをセットアップする手順についても説明しています。

このガイドは、Windows の基本的な機能について熟知しており、お使いのスキャナの設定方法およびスキャニング アプリケーションの使用方法を理解していることを前提に記述されています。

関連ドキュメント

「VRS インストール ガイド 」は、VRS ドキュメント セットの一部です。VRS 製品には、次の関連ドキュメントも含まれます。

VRS ユーザーズ ガイド

「VRS ユーザーズ ガイド」では、VRS の使用方法と製品機能の詳細が説明されています。このガイドは、スキャンに関する知識にかかわらず、スキャン操作を行うすべてのユーザーを対象としています。「VRS インストール ガイド」は PDF 形式ファ

イルで、VRS のユーザー インターフェイス、インストール CD、または Kofax Web サイト (www.kofax.com) の Support ページにある Online Documentation から開くことができます。

VRS オンライン ヘルプ

オンライン ヘルプは、VRS アプリケーションに対してオンスクリーン アシスタンスを提供します。オンライン ヘルプは、VRS ユーザー インターフェイスから F1 キーを押すか、または VRS インタラクティブ ビューア の [ヘルプ] メニューから [VRS ヘルプ] を選択すると表示されます。

VRS リリース ノート

最新の製品情報は、VRS リリース ノートに掲載されています。VRS リリース ノートは PDF 形式ファイルで、Kofax Web サイト (www.kofax.com) の Support ページにある Online Documentation から開くことができます。リリース ノートは注意してお読みください。これには、他の VRS ドキュメントでは掲載されていない情報などが含まれている場合があります。

トレーニング

Kofax では、Kofax ソリューションを最大限活用できるように、トレーニングを提供しています。トレーニング オプションとスケジュールに関する詳細は、Kofax Web サイト (www.kofax.com) を参照してください。

Kofax テクニカル サポート

Kofax 製品に関する最新のテクニカル情報は、Kofax Web サイト (http://www.kofax.com) から Support ページを参照してください。このページでは、改訂履歴、オンライン ドキュメント やユーザーズ ガイド 、更新された製品のリリース ノート 、テクニカル ヒント 、豊富なナレッジベースなど、各製品に関する情報が提供されています。VRS の FAQ も 、VRS の Support ページに掲載されています。

また、Kofax Web サイトには Kofax 製品のサポート オプションに関する情報も掲載されています。利用可能なサポート オプションに関する詳細は、Web サイトを参照してください。

Kofax テクニカル サポートへのお問い合わせの際は、次の情報をご用意ください。

- VRS バージョンとビルド番号
- スキャニング アプリケーションまたは電子メール アプリケーションの名前
- オペレーティング システムとサービス パックのバージョン
- スキャナの製造元およびモデル
- SCSI スキャナ コントローラ (該当する場合)
- 特殊なカスタム設定または総合情報

概要

はじめに

VirtualReScan (VRS) は、あらゆるタイプの文書に対して最高のイメージ品質を提供することを目的とした画像処理ツールです。スキャニング アプリケーションおよびスキャナと共に、ユーザーの基準に沿ったスキャン イメージの画質を提供します。VRS は、低画質のイメージを直ちに検出し、自動画像処理を行います。また、インタラクティブに調整できるコントロールを使用することで、簡単かつリアルタイムにイメージを修正できます。

VRS のデスクトップ プロダクティビティ機能を使用して、電子メール アプリケーション、Windows エクスプローラのフォルダ、または Windows デスクトップから直接スキャンすることができます。

このガイドは、VRS のインストールに関する重要な情報について説明します。

- VRS のインストールに必要なシステム要件
- VRS のインストール時に役立つ情報
- VRS のインストール手順

また、お使いのコンピュータに Adrenaline SCSI スキャナ コントローラをセットアップする手順についても説明しています。この SCSI コントローラにはスキャナ ドライバが含まれており、向上したスキャナ処理能力とイメージ処理機能を提供します。Adrenaline コントローラは、ImageControls ツールキット、ISIS プログラム インター

フェイス、または TWAIN プログラム インターフェイスをベースとしたアプリケーションをサポートしています。

VRS の使用

VRS のライセンスは、機能 (VRS 基本機能および VRS プロフェッショナル機能) とスキャナの処理能力 (ppm) に基づいて分類されています。VRS は、異なるレベルの処理能力をもつ、動作保証された幅広い範囲のスキャナで使用することができます。

表 1. VRS ライセンス タイプ

ライセンス	説明
VRS 基本	標準の VRS 機能に対応。主に、処理能力が 35 ppm 以下の動作保証されたスキャナで使用。
デスクトップ スキャナ用 VRS プロフェッショナル	VRS 基本機能および VRS プロフェッショナル機能に対応。通常、処理能力が 35 ppm 以下の動作保証されたスキャナで使用。
ワークグループ スキャナ用 VRS プロフェッショナル	VRS 基本機能および VRS プロフェッショナル機能に対応。通常、処理能力が 35 ppm から 80 ppm の動作保証されたスキャナで使用。ハイレベル バーコード機能付き Adrenaline イメージ プロセス エンジン (AIPE) もサポート (詳細は、6 ページの「Adrenaline イメージ プロセス エンジン付き VRS の使用」を参照してください)。
プロダクション スキャナ用 VRS プロフェッショナル	ワークグループ スキャナ用 VRS プロフェッショナルと同様。通常、スキャナ処理能力が 80 ppm 以上の動作保証されたスキャナで使用。

VRS プロフェッショナル機能

VRS プロフェッショナル機能に対応したライセンスでは、すべての VRS に含まれる基本機能に加えて、次の機能が利用できます。

デスクトップ、ワークグループ、またはプロダクション クラスのライセンスでは、VRS プロフェッショナル機能を使用できます。基本ライセンスでは、VRS インタラクティブ ビューア の [ツール] メニューから [プロフェッショナル機能デモを有効にする] を選択すると、VRS プロフェッショナル機能をプレビューすることができます。このオプションが選択されていると、VRS プロフェッショナル機能が使用できるようになり、スキャンされたすべてのイメージに Kofax のロゴが挿入されます。VRS 基本機能および VRS プロフェッショナル機能に関する詳細は、「VRS ユーザーズ ガイド」または VRS オンライン ヘルプを参照してください。

VRS スキャナ : 動作保証されたスキャナとそれ以外のスキャナ

VRS で動作保証されていないスキャナを使用する場合、厳密なテスト プロセスを通して、最適なデフォルト設定を確認し選択しなければなりません。このため、VRS で動作保証されたスキャナのみを使用することを推奨します。Kofax テクニカル サポートは、VRS 動作保証スキャナに関してのみ受けられます。動作保証されているスキャナのリストは、Kofax Web サイトの製品ページから参照してください。また、VRS の製品ページには、スキャナ名や製造元の他に、次の情報が掲載されています。

- VRS に使用されるドライバ (TWAIN、ISIS、または Kofax SCSI)
- ブラック ボーダーまたはホワイト ボーダー (白または黒の背景色) のサポート
- 最適なパフォーマンスを得るための追加メモリの必要性 （該当する場合）
- VRS 動作保証インターフェイス (SSCI、USB、または FireWire)

動作保証されていない (互換性のない) いくつかのスキャナは、スキャナ設定ユーティリティで設定することで、VRS で使用することができます。ただし、動作保証されていないスキャナを VRS で使用すると、イメージの質が劣化することがあるので注意してください。VRS で使用できないスキャナも存在します。動作保証されていないスキャナとの互換性を確保するには、次の要件を満たしている必要があります。

- 256 階調グレースケール イメージを 1 つのイメージとして出力する機能
- TWAIN ドライバまたは ISIS ドライバのサポート

メモ VRS は ISIS ドライバを使用したスキャナで最適に動作しますが、TWAIN ドライバを使用したスキャナもいくつかサポートしています。

動作保証されていないスキャナを VRS で使用する場合、このガイドのインストール手順に従って VRS ソフトウェアをインストールしてください。VRS のインストール中に、スキャナを選択するように指示されたら、[後でスキャナを設定する] チェック ボックスを選択します。VRS でスキャナを使用するには、スキャナ ドライバをインストールしてから、スキャナ設定ユーティリティを使用してソースを作成する必要があります。

VRS Component Installer

VRS インストール中に、動作保証されているスキャナのリストからスキャナを選択する画面が表示されます。VRS インストーラは、選択したスキャナのドライバをインストールします。動作保証されたスキャナのリストは常に更新されるため、新規に動作保証されたスキャナは、インストール中に表示されるリストに追加されていないことがあります。リストに表示されない動作保証されたスキャナのドライバは、VRS Component Installer から利用できます。VRS Component Installer は、VRS のインストール後、Kofax の Web サイトからダウンロードできます。使用するスキャナ用の VRS Component Installer を選択するには、Kofax Web サイトの Support ページから Downloads Library を参照してください。

VRS Component Installer を必要とする場合は、このガイドの手順に沿って VRS のインストールを完了してください (14 ページの「VRS ソフトウェアのインストール」を参照してください)。VRS のインストール中に、スキャナを選択するように指示されたら、[後でスキャナを設定する] チェック ボックスを選択します。インストール後、Kofax の Web サイトから、使用するスキャナのドライバ用の VRS Component Installer アップデートをダウンロードします。

Component Installer は、VRS で動作保証されたスキャナにのみ有効です。動作保証されていないスキャナを VRS で使用するには、3 ページの「VRS スキャナ : 動作保証されたスキャナとそれ以外のスキャナ」の要件を満たしている必要があります。

Adrenaline イメージ プロセス エンジン付き VRS の使用

ワークグループ スキャナ用 VRS ライセンスおよびプロダクション スキャナ用 VRS ライセンスは、標準バーコードの読み取り、フォームの認識、罫線除去などのイメージ プロセス機能を提供する Adrenaline イメージ プロセス エンジン (AIPE) をサポートしています。オプションとして、ハイレベル バーコード認識も利用できます。詳細は、「ユーザーズ ガイド」の「ハイレベル バーコード エンジン」を参照してください。

管理者権限

VRS のインストールまたは Adrenaline スキャナ コントローラのセットアップを行うには、管理者権限が必要です。インストールやセットアップを開始する前に、管理者権限のあるユーザーでログインしてください。管理者権限は、インストールまたはセットアップ時のみ必要です。VRS や Adrenaline スキャナ コントローラの使用には必要ありません。

ドメイン管理者アカウントによっては、ローカル コンピュータ上の一部のフォルダやレジストリ キーにアクセスできないことがあります。使用する管理者アカウントに、ローカルの管理者アカウントと同等のフォルダおよびレジストリ アクセス権があることを確認してください。

メモ 管理者としてログインする場合、グループ ポリシーが設定されていたり、ウィルス駆除ソフトの保護レベルが最高に設定されていると、制限を受けることがあります。

システム要件

インストールする前に、システム要件を満たしていることを確認してください。推奨要件は、最速かつ最大の性能を引き出します。

最小システム要件

- インテル Pentium 4、1.4 GHz プロセッサ
- 256 MB RAM
- 300 MB の空きディスク容量
- モニタ解像度 : 800 x 600
- CD ドライブ
- Microsoft Internet Explorer 5.01 以降

推奨システム要件

- インテル Core 2 Duo または AMD Athlon 64 X2
- 2 GB RAM
- 250 GB の空きディスク容量 (7200 rpm)
- モニタ解像度 : 1024 x 768
- CD ドライブ
- Microsoft Internet Explorer 6 以降

メモ コンピュータに Microsoft .NET Framework 2.0 がインストールされていない場合は、VRS インストーラによって自動的にインストールされます。システム要件に関する詳細情報は、Kofax Web サイト (www.kofax.com) の Support ページを参照してください。

TWAIN および ISIS について

VRS スキャナはすべて、TWAIN または ISIS ドライバのいずれかをサポートしています。一部のスキャナは、ISIS および TWAIN ドライバの両方で動作しますが、より最適に動作するドライバのみがここでは保証されています。スキャナが TWAIN ドライバで動作保証されている場合は、46 ページの「TWAIN のインストール」からそのスキャナに適する手順を参照してください。VRS には、動作保証スキャナを制御するのに必要なすべての ISIS ソフトウェアが含まれているため、ISIS ドライバをインストールする必要はありません。詳細は、Kofax Web サイトの Support ページを参照してください。

USB および FireWire について

VRS スキャナには、USB または FireWire インターフェイスをサポートしているものもあります。使用するスキャナが USB または FireWire インターフェイスを必要とする場合、そのスキャナに適するインストール手順があります。詳細は、46 ページの「USB および FireWire のインストール」を参照してください。

PCI スロットの要件

Adrenaline SCSI スキャナ コントローラを取り付ける前に、コンピュータに次の要件を満たす PCI スロットがあることを確認します。

- コントローラ (175 mm) を収容可能な 5 Volt PCI スロット
  ロー プロファイルには対応していません。
- 32 ビット コネクタ (最小)
  5 Volt シグナルを使用していれば、64 ビット コネクタでも可。

周辺機器のサポート

Kofax から適切なサポートを受けるためには、お使いのスキャナが動作保証されていなければなりません。動作保証されたスキャナかどうかを確認するには、Kofax Scanner Configurator を使用します。

▶ **Kofax Scanner Configurator** は、Kofax Web サイト (www.kofax.com) から Scanner Configurator を選択してください。

サポートするオペレーティング システム

VRS は、次のオペレーティング システム上で動作します。

- Windows Vista (Enterprise および Business エディション。32 ビット版または 64 ビット版)
  Windows Vista で VRS を使用する場合、スキャナには Vista 対応ドライバが必要です。使用するスキャナが Vista 対応であることをスキャナの製造元に確認してください。Windows Vista 環境では、USB スキャナを VRS と共に使用できま

すが、SCSI スキャナは Windows Vista 64 ビット版ではサポートされていないので注意してください。オペレーティング システムおよびサービス パックに関する最新情報は、Kofax の Web サイト (www.kofax.com) で確認してください。

- Windows XP Professional SP2
- Windows 2000 Professional SP4
  VRS デスクトップ プロダクティビティ機能は、Windows 2000 ではご利用いただけません。これらの機能を利用するには、Windows XP または Windows Vista が必要です。

動作保証されたインターフェイス

USB、SCSI、および FireWire インターフェイスのみ、VRS との動作が保証されています。

動作保証された SCSI スキャナ コントローラ

最新情報は、Kofax の Web サイトで確認してください。

デスクトップ プロダクティビティ機能

VRS デスクトップ プロダクティビティ機能は、Windows エクスプローラ、Windows デスクトップ、および次の電子メール アプリケーションから利用できます。

- Microsoft Outlook 2007
- Microsoft Outlook 2003
- Microsoft Outlook XP (Microsoft Outlook 2002)
- Lotus Notes 6.5

インストールに関する注意事項

VRS 3.5 (またはそれ以降) をインストールしている場合は、VRS をアンインストールせずに VRS 4.2 にアップグレードすることができます。VRS 3.5 より前のバージョンを使用している場合は、VRS 4.2 にアップグレードする前に、VRS 3.5 にアップグレードする必要があります。既存の VRS のバージョンを確認するには、次のいずれかを行います。

- VRS 3.5 またはそれ以前のバージョン – [VRS インタラクティブ プロパティ] ダイアログ ボックスの [バージョン情報] タブを選択します。
- VRS 4.0 または 4.1 – VRS インタラクティブ ビューアのメニュー バーから、[ヘルプ] ー [バージョン情報] を選択します。

VRS のアンインストールに関する詳細は、61 ページの「VRS のアンインストール」を参照してください。VRS 3.5 から VRS 4.x へのアップグレードに関する詳細は、VRS リリース ノートを参照してください。

VRS と Kofax Capture

VRS 4.2 は、Kofax Capture (旧称 : Ascent Capture) の一部として自動的にインストールされます。このため、Kofax Capture が既にインストールされている場合は、別途 VRS をインストールする必要はありません。Kofax Capture の一部として VRS をインストールした場合は、[プログラムの追加と削除] リスト (Windows Vista の場合は [プログラムと機能] リスト) に VRS は表示されません。

Kofax Capture のインストールに関する詳細は、Kofax Capture のドキュメントを参照してください。

はじめに

この章では、VRS のインストール手順について説明します。これらの手順は、VRS のライセンスおよび VRS で使用するスキャナの処理能力によって多少異なります。(2 ページの表 1 を参照してください)。VRS のライセンス タイプは、VRS 製品パッケージの外側にあるラベルで確認できます。オンラインで購入した場合は、購入時に Kofax から提供された製品情報で確認できます。

メモ VRS のインストール手順には、Adrenaline SCSI スキャナ コントローラ用のドライバおよびファイルのインストールも含まれます。

VRS のインストールを開始する前に、次のアイテムを準備してください。

- VRS インストール CD (該当する場合)
- VRS で動作保証しているスキャナ
- SCSI スキャナ コントローラおよびサポート ドキュメント (該当する場合)
- Kofax で動作保証しているスキャナ ケーブル

メモ Kofax で動作保証しているスキャナ ケーブルに関する詳細は、Kofax Web サイト (www.kofax.com) の Scanner Configurator を選択してください。

インストール手順

VRS のインストール手順は以下のとおりです。

1. VRS ソフトウェアのインストール (14 ページを参照)
2. (該当する場合) SCSI スキャナ コントローラの取り付け (44 ページを参照)
3. (該当する場合) スキャナの取り付け (45 ページを参照)
4. (該当する場合) 新しいハードウェアの検出ウィザードによる設定 (49 ページを参照)
5. スキャニング アプリケーションのインストール (50 ページを参照)

VRS ソフトウェアのインストール

このセクションでは、VRS 4.2 ソフトウェアのインストール方法を説明します。VRS 3.5 または VRS 4.x を使用している場合は、VRS をアンインストールせずに VRS 4.2 にアップグレードすることができます。VRS 3.5 より前のバージョンを使用している場合は、VRS 4.2 にアップグレードする前に、VRS 3.5 にアップグレードする必要があります。詳しい手順については、11 ページの「インストールに関する注意事項」および VRS リリース ノートを参照してください。VRS リリース ノートは PDF 形式ファイルで、Kofax Web サイト (www.kofax.com) の Support ページにある Online Documentation から開くことができます。

Adrenaline SCSI スキャナ コントローラのセットアップを行う場合は、このセクションにある VRS のインストール手順に従って、必要なドライバおよびファイルをコンピュータにインストールします。インストールが完了したら、57 ページの「Adrenaline SCSI スキャナ コントローラのセットアップ」を参照してください。

▶ VRS ソフトウェアをインストールするには

1 VRS をインストールするコンピュータに管理者権限のあるユーザーでログインして、アプリケーションをすべて閉じます。

重要 Windows Vista を使用している場合は、VRS をインストールする前に [ユーザー アカウント制御] を無効にする必要があります。

メモ ドメイン管理者アカウントによっては、ローカル コンピュータ上の一部のフォルダやレジストリ キーにアクセスできないことがあります。使用する管理者アカウントに、ローカルの管理者アカウントと同等のフォルダおよびレジストリ アクセス権があることを確認してください。

---

2 次の**いずれか**を行います。

- VRS インストール CD を適切な CD-ROM ドライブに挿入します。インストール CD は自動再生をサポートしているため、インストールは自動的に開始されます。
- オンラインで製品を購入後、VRS をダウンロードしたフォルダを参照し、setup.exe を実行します。

VRS のインストールが開始されます。

Microsoft .NET Framework 2.0 がコンピュータにインストールされていない場合は、自動的にインストールされます。既にインストールされている場合は、次のステップに進みます。

メモ VRS のインストールを途中でキャンセルした場合、インストールされた Microsoft .NET Framework 2.0 はそのまま残り、VRS コンポーネントのみ削除されます。

VirtualReScan セットアップ初期画面が表示されます (図 1)。

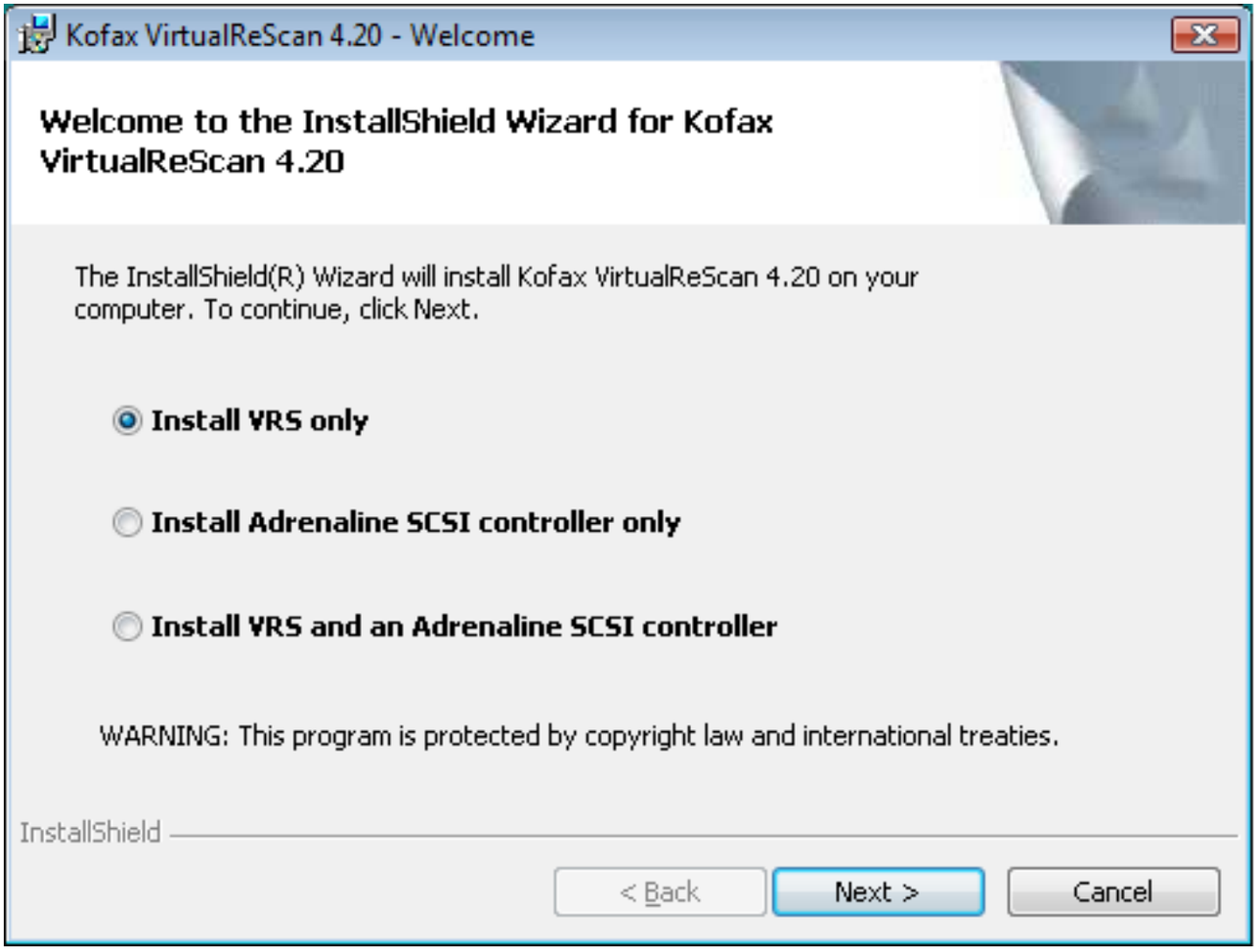


図 1 VirtualReScan セットアップ初期画面

3 次の**いずれか**のインストール オプションを選択します。

- VRS のみのインストール
- Adrenaline SCSI コントローラのみインストール
- VRS および Adrenaline SCSI コントローラのインストール

[ユーザー ID] 画面が表示されます (図 2)。前の画面で "Adrenaline SCSI コントローラのみインストール " を選択した場合は、[ユーザー ID] 画面は表示されません。

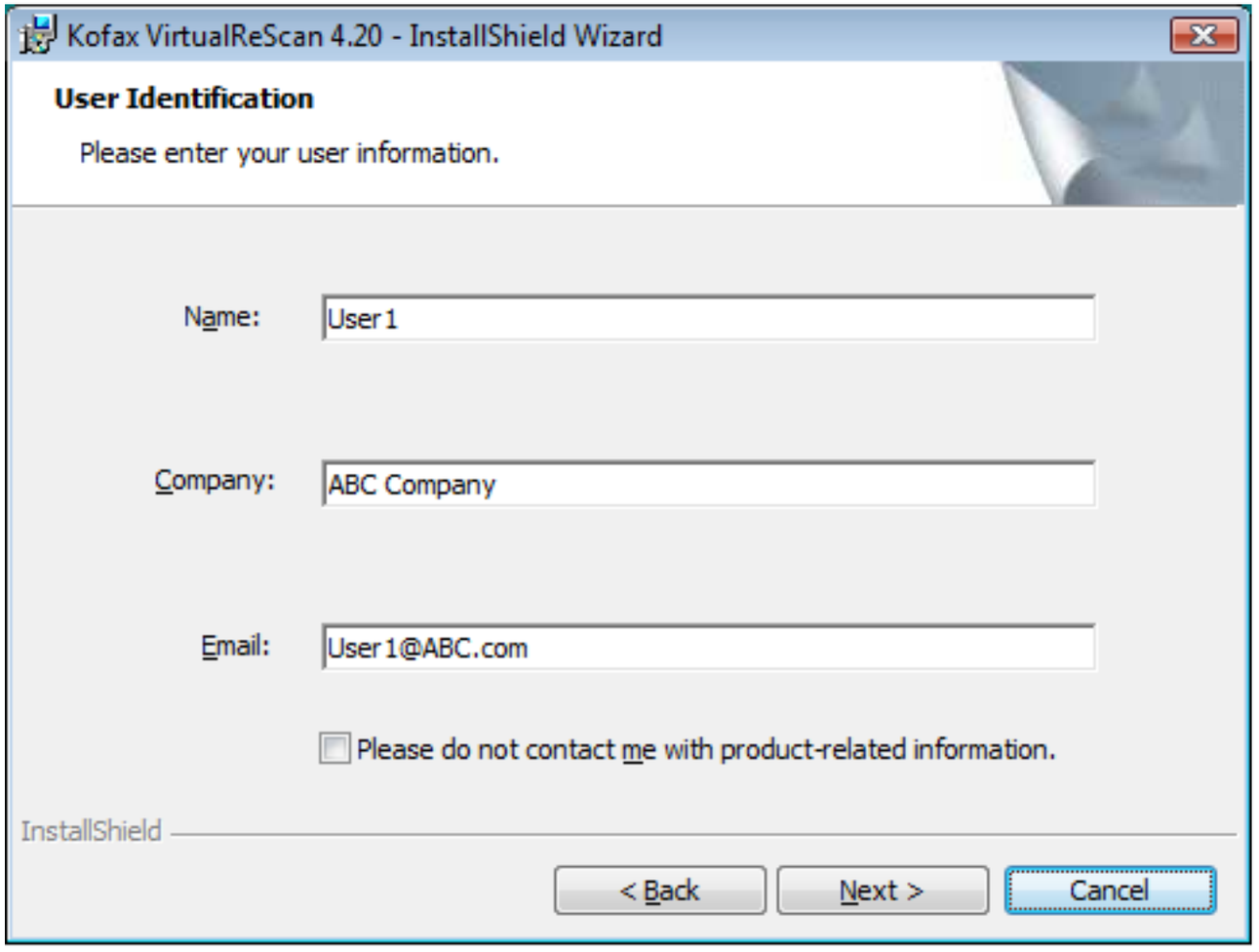


図 2 [ユーザー ID] 画面

4 VRS を デモ モードでインストールする場合は、[次へ] をクリックします (30 ページの「デモ モード」を参照)。それ以外の場合は、次のステップに進みます。

5 [ユーザー ID] 画面では、次の操作を行います。

a 名前、会社名、電子メールを入力します。

b Kofax 製品情報を電子メールで受け取らない場合は、[製品情報を受け取らない] チェック ボックスをオンにします。

c 情報を入力して、[次へ] をクリックします。

[製品情報] 画面が表示されます (図 3)。前の画面で "Adrenaline SCSI コントローラのみインストール " を選択した場合は、[製品情報] 画面は表示されません。

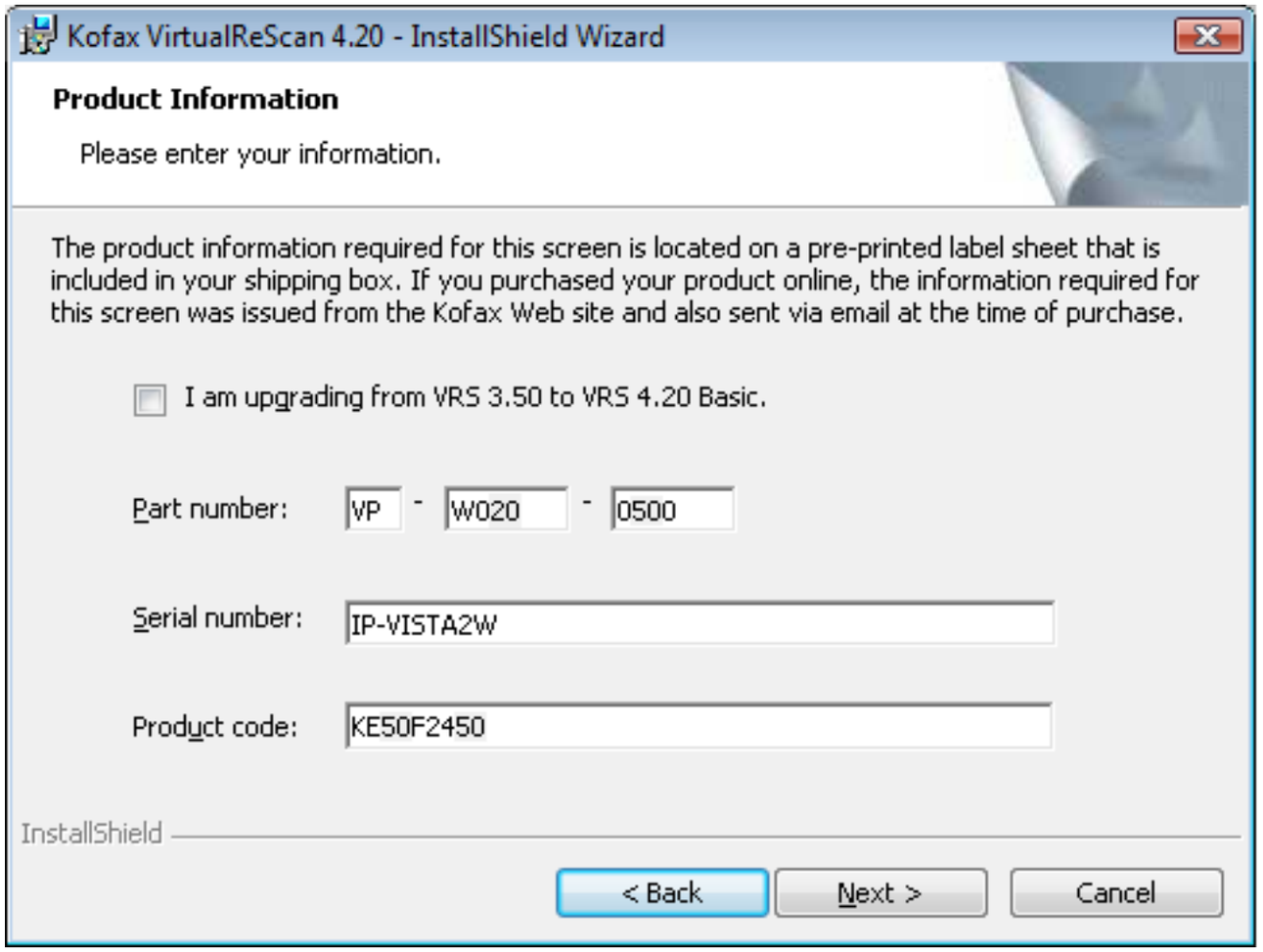


図 3 [製品情報] 画面

この画面で入力する情報は、VRS 製品パッケージにあるラベルに記載されています。オンラインで製品を購入した場合は、購入時に Web サイトで発行され、電子メールでも送られます。

6 VRS 3.5 から 4.2 への基本ライセンスのアップグレードを行う場合は、チェック ボックスをオンにして、[次へ] をクリックします。それ以外の場合は、次のステップに進みます。

7 前の画面でチェック ボックスをオンにしなかった場合は、次の**いずれか**を行います。

- VRS 4.2 のパート番号、シリアル番号、および製品コードを入力します。これらの情報は、製品パッケージのライセンス ラベルに記載されているか、またはオンラインで購入時に提供されます。情報を入力して、[次へ] をクリックします。
- VRS をデモ モードでインストールする場合は、何も入力せずに、[次へ] をクリックします。この場合、確認ダイアログが表示されるので、[続行] をクリックします。

メモ VRS ラベル シート、製品情報は安全な場所に保管してください。

[インストール先フォルダ] 画面が表示されます (図 4)。

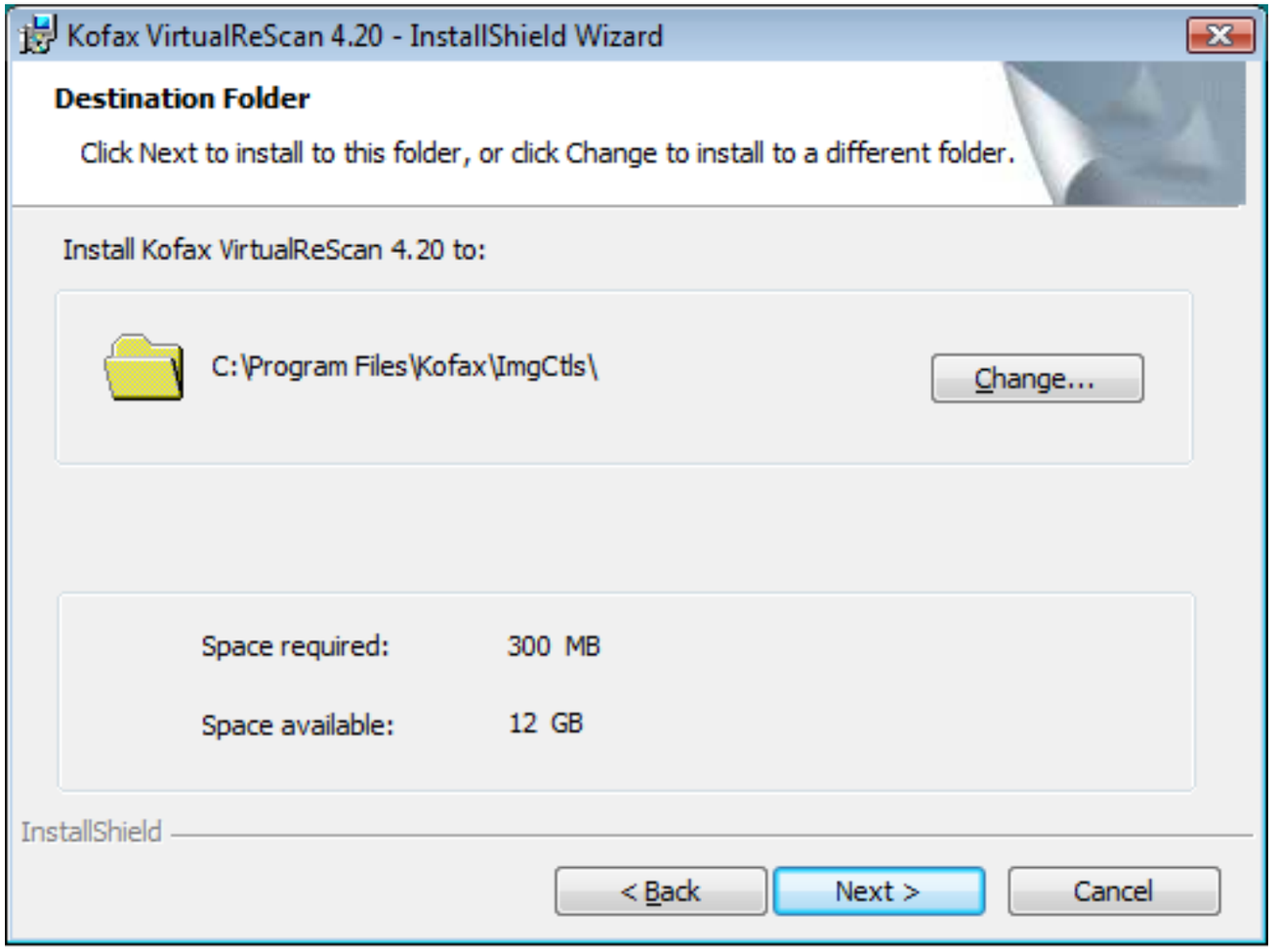


図 4 [インストール先フォルダ] 画面

インストーラは、システムを検査し、デフォルト ドライブの空き容量をチェックします。そして、必要な容量と空き容量を表示します。

8 [次へ] をクリックして、インストール先フォルダを C:\PROGRAM FILES\KOFAX\IMGCTLS にするか、[参照] をクリックして、別のフォルダを選択します。デフォルトのインストール先フォルダは、上記と異なる場合があります。

9 [次へ] をクリックして、インストールするフォルダを決定します。十分な空きディスク容量がない場合、メッセージが表示されます。この場合、[OK] をクリックしてメッセージを閉じます。そして、[キャンセル] と [セットアップの終了] をクリックして VRS のインストールを終了します。システム上の空きディスク容量を増やしてから、再度 VRS のインストールを開始します。

10 [動作保証スキャナ] 画面が表示されます (図 5)。

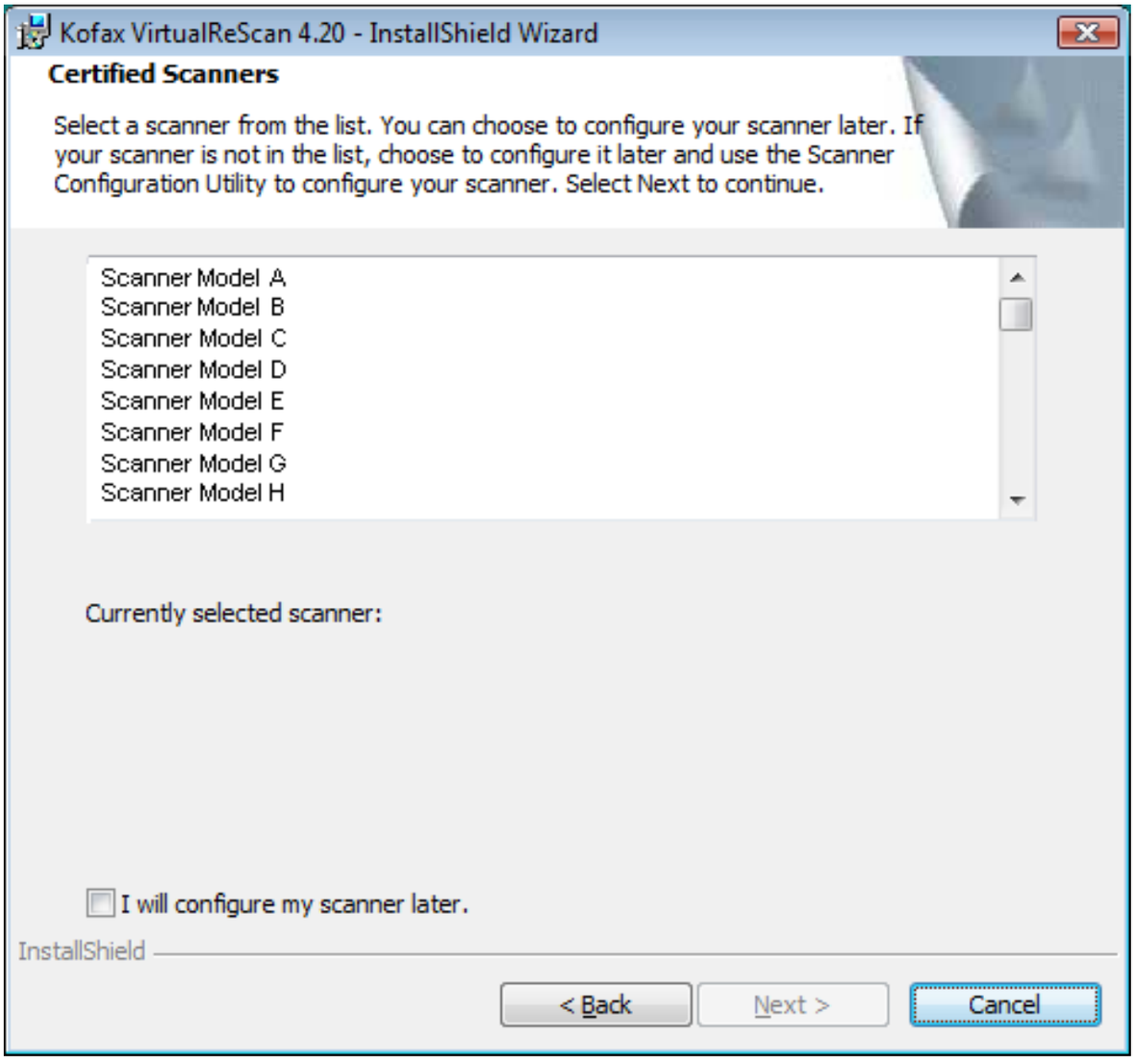


図 5 [動作保証スキャナ] 画面

次の**いずれか**を行います。

- リストから VRS 動作保証スキャナを選択して、" 現在選択されているスキャナ " として表示されたら、[次へ] をクリックします。
- リストに**表示されていない** VRS 動作保証スキャナは、後で VRS Component Installer をダウンロードして設定します。ここでは、[後でスキャナを設定する] チェック ボックスをオンにして、[次へ] をクリックします。詳細は、5 ページの「VRS Component Installer」を参照してください。
- VRS または Adrenaline スキャナ コントローラを動作保証されていないスキャナと共に使用する場合は、[後でスキャナを設定する] オプションを選択して、[次へ] をクリックします。動作保証されていないスキャナを使用する場合は、Kofax スキャナ設定ユーティリティを使用して、VRS または Adrenaline コントローラ用にスキャナを設定します。詳細は、「VRS ユーザーズ ガイド」を参照してください。

11 インストール開始の準備ができると、準備完了のメッセージが表示されます。インストールを開始する前に設定を変更する場合は、[戻る] をクリックして前の画面に戻ることができます。そうでない場合は、[インストール] をクリックしてインストールを開始します。

インストール中に、確認メッセージといくつかのアップデート メッセージが表示されます。

12 Windows XP では、Adrenaline SCSI スキャナ コントローラを含む インストール オプションを選択した場合、互換性メッセージが表示されることがあります。メッセージが表示された場合は、[続行] をクリックして、次のステップに進んでください。

メモ [続行] をクリックしない場合は、しばらくすると、互換性メッセージは自動的に閉じます。

13 VRS インストールが完了すると、完了のメッセージが表示されます。[完了] をクリックしてインストールを終了し、メッセージを閉じます。

14 直ちにコンピュータを再起動するオプションを選択して、[完了] をクリックします。再起動した後に VRS インストール CD からスキャナドライバがインストールされる場合があるため、コンピュータが再起動されるまで CD を取り出さないでください。スキャナドライバのインストール手順は、インストール時に選択したスキャナによって異なります。

15 再起動した後に、製品ライセンスが VRS プロフェッショナル機能に対応している場合や、[製品情報] 画面で VRS 3.5 から VRS 4.20 基本ライセンスへのアップグレードを選択した場合は、[VRS のアクティベーション] ダイアログボックスが表示されます (図 6)。

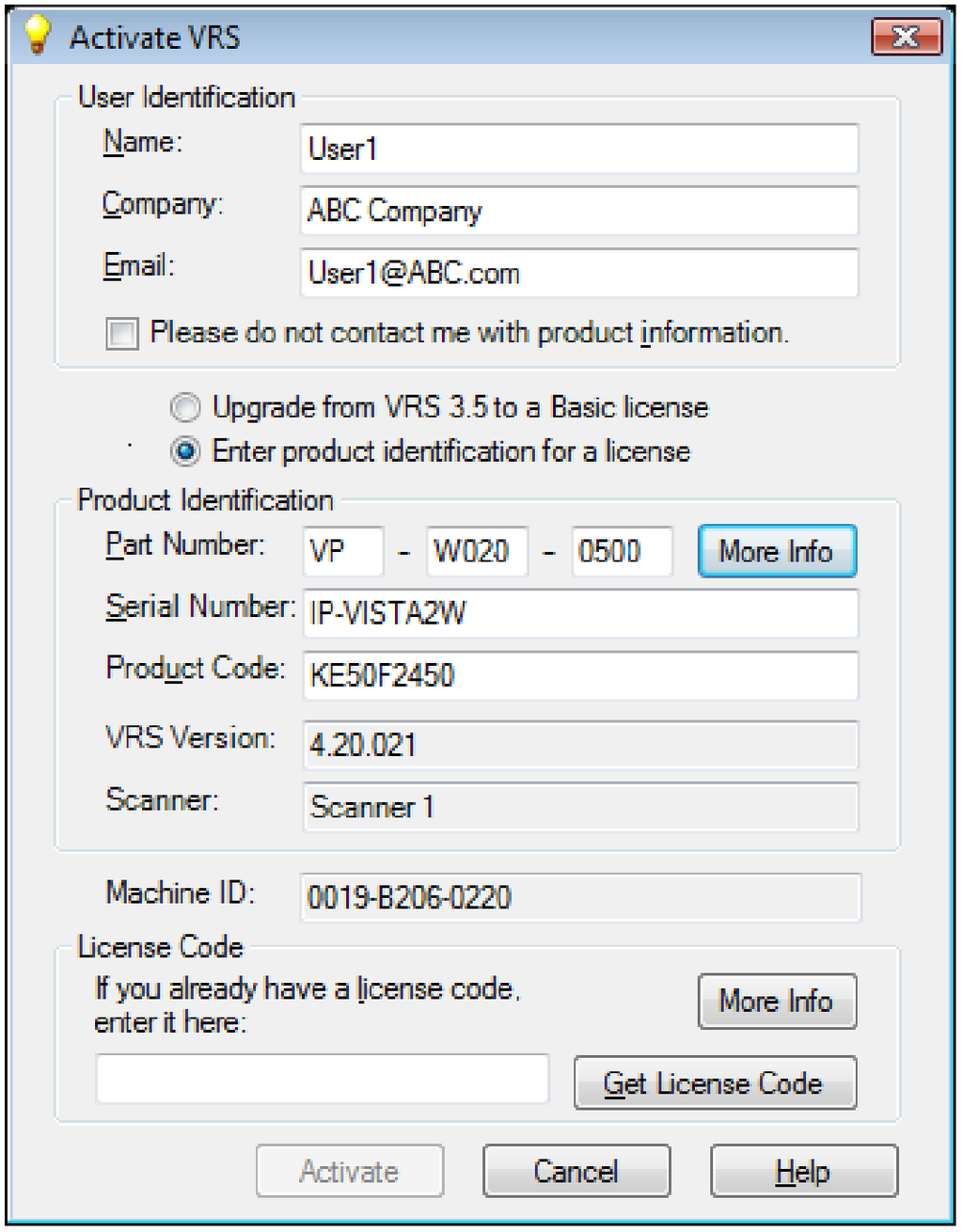


図 6 [VRS のアクティベーション] ダイアログ ボックス

VRS 3.50 から VRS 4.2 基本ライセンスにアップグレードする場合、ダイアログ ボックスにあるオプションはグレーで表示され、[アクティベーション] を

クリックするだけです。[アクティベーション] をクリックする際、次の**いずれか**が取り付けられている必要があります。

- VRS 3.5 ハードウェア キー (ドングル)
- 有効な Adrenaline 650i スキャナ コントローラ

次の場合には、インストール時に [VRS のアクティベーション] ダイアログ ボックスは**表示されません**。

- VRS プロフェッショナル機能をサポートしていない VRS 基本ライセンスの場合。[VRS の登録] ダイアログ ボックスが代わりに表示されます (図 7 の後のステップを参照してください)。
- VRS をデモ モードでインストールするために、インストール手順の [製品情報] 画面をスキップした場合。
- VirtualReScan セットアップ初期画面で "Adrenaline SCSI コントローラのみインストール " を選択した場合。

16 [VRS のアクティベーション] ダイアログ ボックスの [ユーザー ID] セクションのフィールドには、VRS の購入時またはインストール時に入力した値が設定されていることがあります。必要に応じて、[ユーザー ID] セクションを更新します。

17 Kofax 製品情報を電子メールで受け取らない場合は、[製品情報を受け取らない] チェック ボックスをオンにします。

18 " ライセンスの製品情報を入力する " オプションを選択します。

19 [ライセンス コード] セクションでは、次の**いずれか**を行います。

- [ライセンス コードの取得] をクリックして VRS のライセンス コードを取得します。ライセンス コードは、自動的に表示されます。このオプションを

使用するには、インターネットに接続しており、ダイアログ ボックスにあるここまでのフィールドが入力済みでなければなりません。ライセンスのアクティベーションが完了すると、確認メッセージが表示され、ダイアログ ボックスは閉じます。

- 既にライセンス コードを取得している場合は、そのコードを入力します。[アクティベーション] をクリックすると、ライセンスのアクティベーションが行われます。ライセンス コードとその他のフィールドの入力値が正しければ、確認メッセージが表示されます。

インストーラが VRS ライセンス サーバーに接続できない場合は、[アクティベーション - インターネット未接続] ダイアログ ボックスが表示されます。この場合は、34 ページの「インターネット未接続時の VRS ライセンスのアクティベーション」を参照してください。

20 前の画面で VRS プロフェッショナル ライセンスのアクティベーションを行った場合は、[アップデートの確認] ダイアログ ボックスが表示されます。詳細は、51 ページの「製品アップデートの確認」を参照してください。

21 VRS 基本ライセンスの場合は、[VRS の登録] ダイアログ ボックスが表示されます (図 7)。また、VRS をインストールせずに Adrenaline SCSI スキャナ コントローラのセットアップだけを行う場合も、[VRS の登録] ダイアログ ボックスが表示されます。

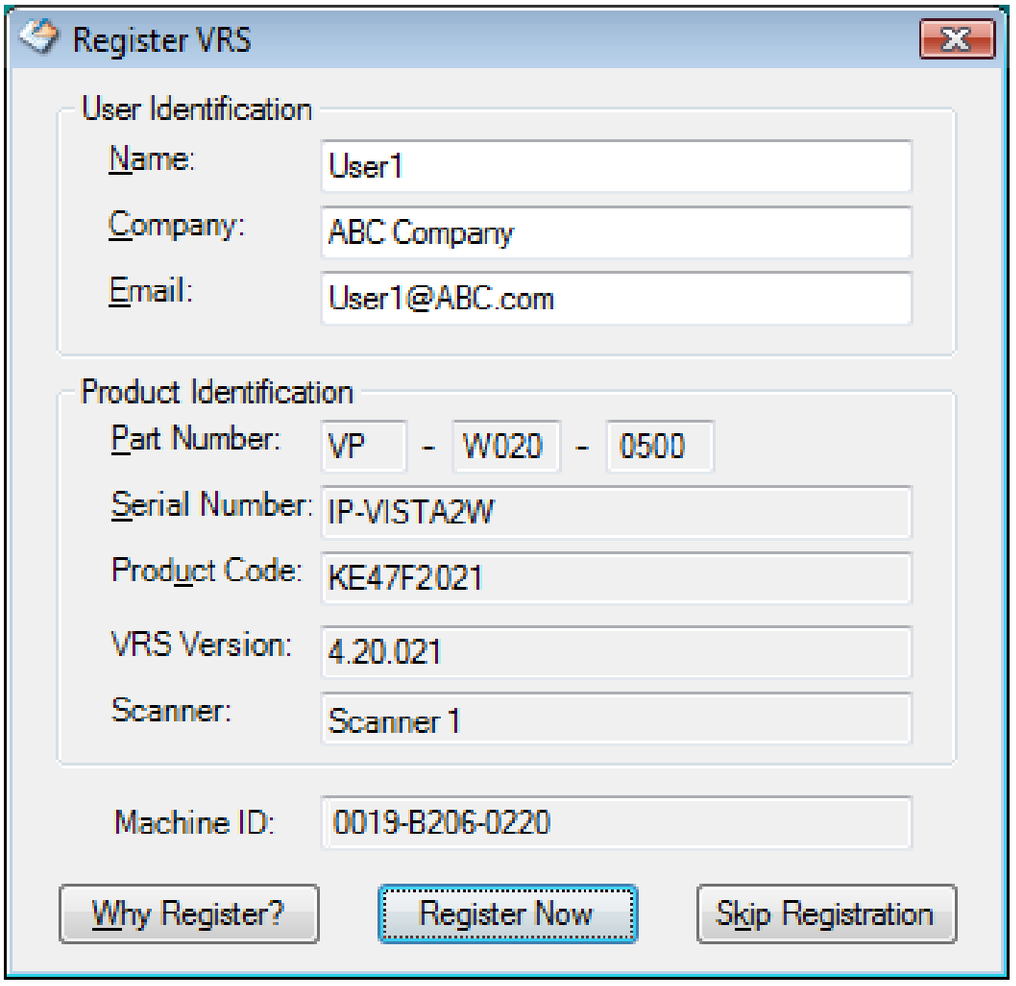


図 7 [VRS の登録] ダイアログ ボックス

22 [ユーザー ID] では、次の項目を更新することができます。これらのフィールドには、VRS のインスト ール時に入力した値が設定されていることがあります。

- 名前 : 名前を入力します。
- 会社名 : 会社名を入力します。
- E メール : 電子メールを入力します。

23 [製品 ID] には、VRS のインストール時に入力した値が設定されています。この項目は更新できません。

24 次の**いずれか**を行います。

a VRS 製品を登録することによって得られる利点についての説明が表示されます。ダイアログ ボックスは、[OK] をクリックして終了します。

b [今すぐ登録] をクリックして、ライセンスの登録処理を完了します。ライセンス コードとその他のフィールドの入力値が正しければ、確認メッセージが表示されます。VRS がライセンス サーバーに接続できない場合は、[登録 - インターネット未接続] ダイアログ ボックスが表示されます。この場合は、40 ページの「インターネット未接続時の VRS 基本ライセンスの登録」を参照してください。

c [登録のスキップ] をクリックして、登録処理をスキップします。このオプションを選択すると、確認メッセージが表示されます。[はい] または [いいえ] をクリックします。

25 必要に応じて、VRS Component Installer をダウンロードしてください。VRS Component Installer は、次の**両方**が適用される場合に必要です。

- VRS で動作保証されているが、VRS のインストール時にスキャナのリストに表示されなかったスキャナを使用する場合。
- VRS インストール時に、[後でスキャナを設定する] チェック ボックスを選択した場合。

メモ 使用するスキャナ用の VRS Component Installer を選択するには、Kofax Web サイト (www.kofax.com) の Support ページから Downloads Library のリンクを参照してください。詳細は、5 ページの「VRS Component Installer」を参照してください。

---

26 (該当する場合) インストール CD を取り出し、安全な場所に保管します。

インスト ール後のライセンスのアクティ ベーショ ン / 登録

ライセンス タイプにより、インストール中にライセンスのアクティベーション (VRS プロフェッショナル ライセンスの場合) または登録 (VRS 基本ライセンスの場合) を行うよう指示されます。インストール時にこれらを行わない場合は、このセクションの手順に従ってインストール後に行うことができます。VRS プロフェッショナル ライセンスの場合は、次のセクションを参照してください。VRS 基本ライセンスの場合は、37 ページの「インストール後の VRS 基本ライセンスの登録」を参照してください。

インストール後の VRS プロフェッショナル ライセンスのアクティベーション

VRS プロフェッショナル ライセンスのアクティベーションを行わずに VRS をインストールした場合は、VRS はデモ モードまたは評価モードで実行されます。製品をまだ購入していない場合は、VRS はデモ モードで実行されます。デモ モードでは、VRS の全機能を使用することができますが、スキャンされたイメージすべてに Kofax のロゴが挿入されます。製品ライセンスを購入後、インストール時にアクティベーションを行っていない場合は、VRS は評価モードで実行されます。評価モードでは、VRS を起動するたびにライセンスのアクティベーションを促すメッセージが表示されます。

デモ モード

VRS をデモ モードで実行すると、スキャンしたイメージに Kofax のロゴ (図 8) が挿入されることを示すメッセージが表示されます。

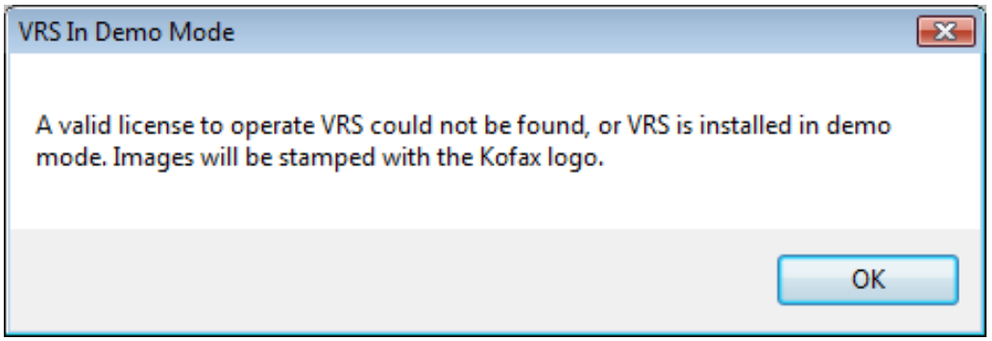


図 8 VRS デモ モードに関する注意事項

評価モード

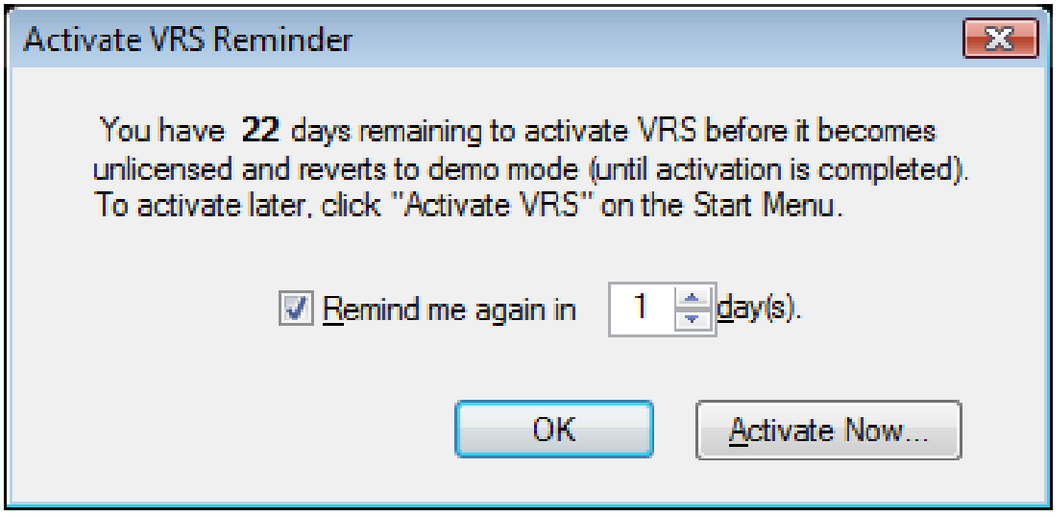


図 9 [VRS のアクティベーションに関する注意事項] ダイアログ ボックス

▶ VRS プロフェッショナル ライセンスのアクティベーションを行うには

1 次の**いずれか**を行います。

- [VRS のアクティベーションに関する注意事項] ダイアログ ボックスで、[今すぐアクティベーション] をクリックします。
- Windows の [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] ー [Kofax VRS] ー [VRS のアクティベーション] を選択します。

メモ VRS をデモ モードで実行している場合は、製品を購入しないと、VRS ライセンスのアクティベーションはできません。オンラインで製品を購入するには、Kofax VRS プログラム フォルダから [今すぐ購入] を選択します。詳細は、VRS のヘルプを参照してください。

2 [VRS のアクティベーション] ダイアログ ボックスが表示されます (図 10)。

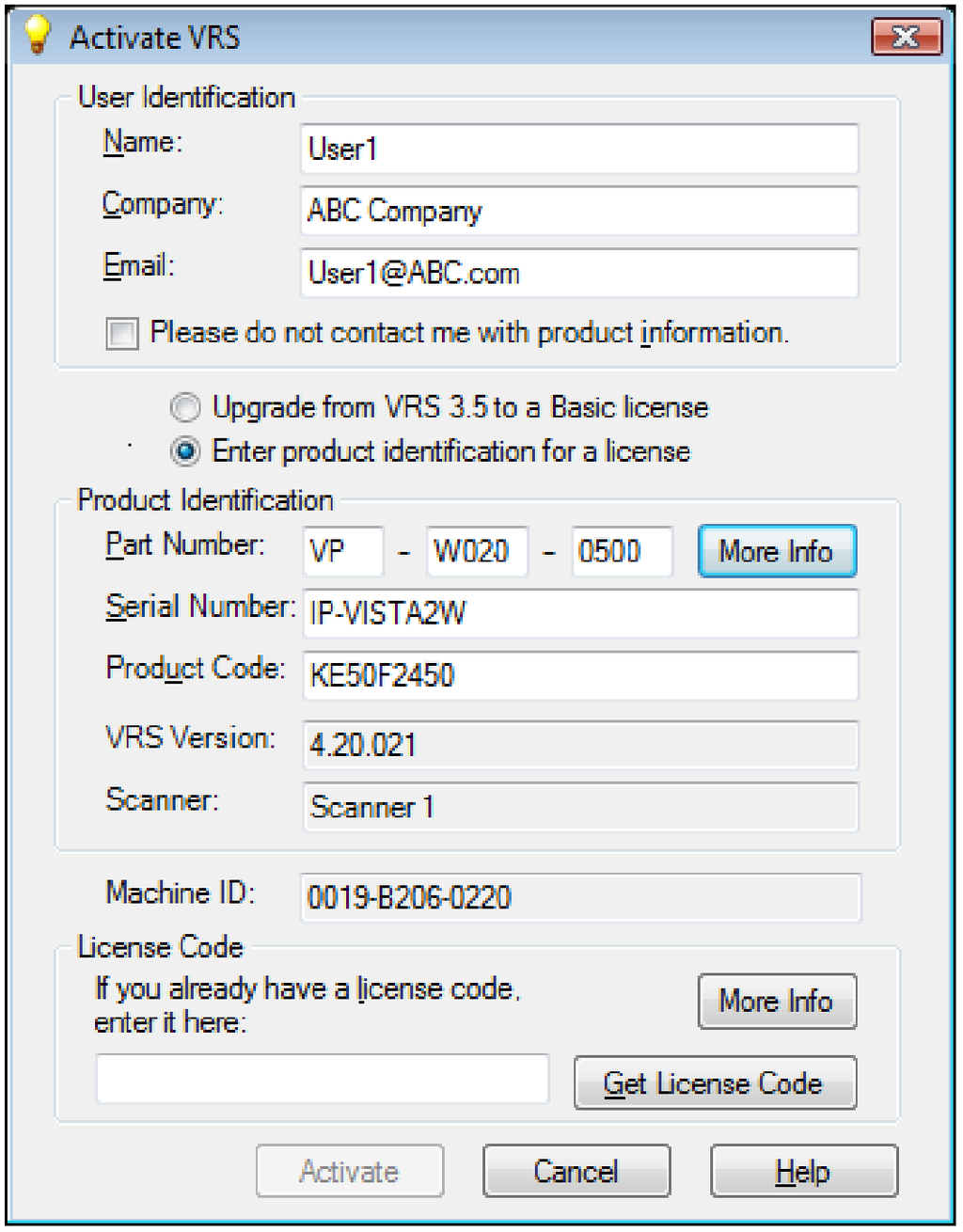


図 10 [VRS のアクティベーション] ダイアログ ボックス

3 ユーザー ID および製品 ID セクションは、VRS インストール時の値を基に既に入力されている場合があります。必要に応じて、[製品情報を受け取らない] チェック ボックスをオンにます。ユーザー ID または製品 ID のいずれか

のセクションが未入力の場合は、必要な情報を入力します。製品 ID セクションに必要な情報は、19 ページを参照してください。

4 次の**いずれか**を行い、ライセンス コードを入力します。

- ライセンス コードを取得いない場合は、[ライセンス コードの取得] をクリックして、Kofax ライセンス サーバーからライセンス コードを取得します。インターネットに接続されていないと、コードを受けとることができません。この場合は、[アクティベーション - インターネット未接続] ダイアログ ボックスが表示されます。インターネットに接続せずにライセンス コードを取得する方法については、次のセクションを参照してください。
- VRS ライセンス コードを別の方法で取得した場合は、そのライセンス コードを入力し、[アクティベーション] をクリックします。

ライセンス アクティベーションの完了を示す確認ダイアログ ボックスが表示されます。

インターネット未接続時の VRS ライセンスのアクティベーション

[VRS のアクティベーション] ダイアログ ボックスから [ライセンス コードの取得] をクリックしたときに、インターネットに接続されていないと、ライセンス コードが取得できません。別の方法で取得する必要があります。この場合は、[アクティベーション - インターネット未接続] ダイアログ ボックス (図 11) が表示され、選択できるオプションのリストが表示されます。

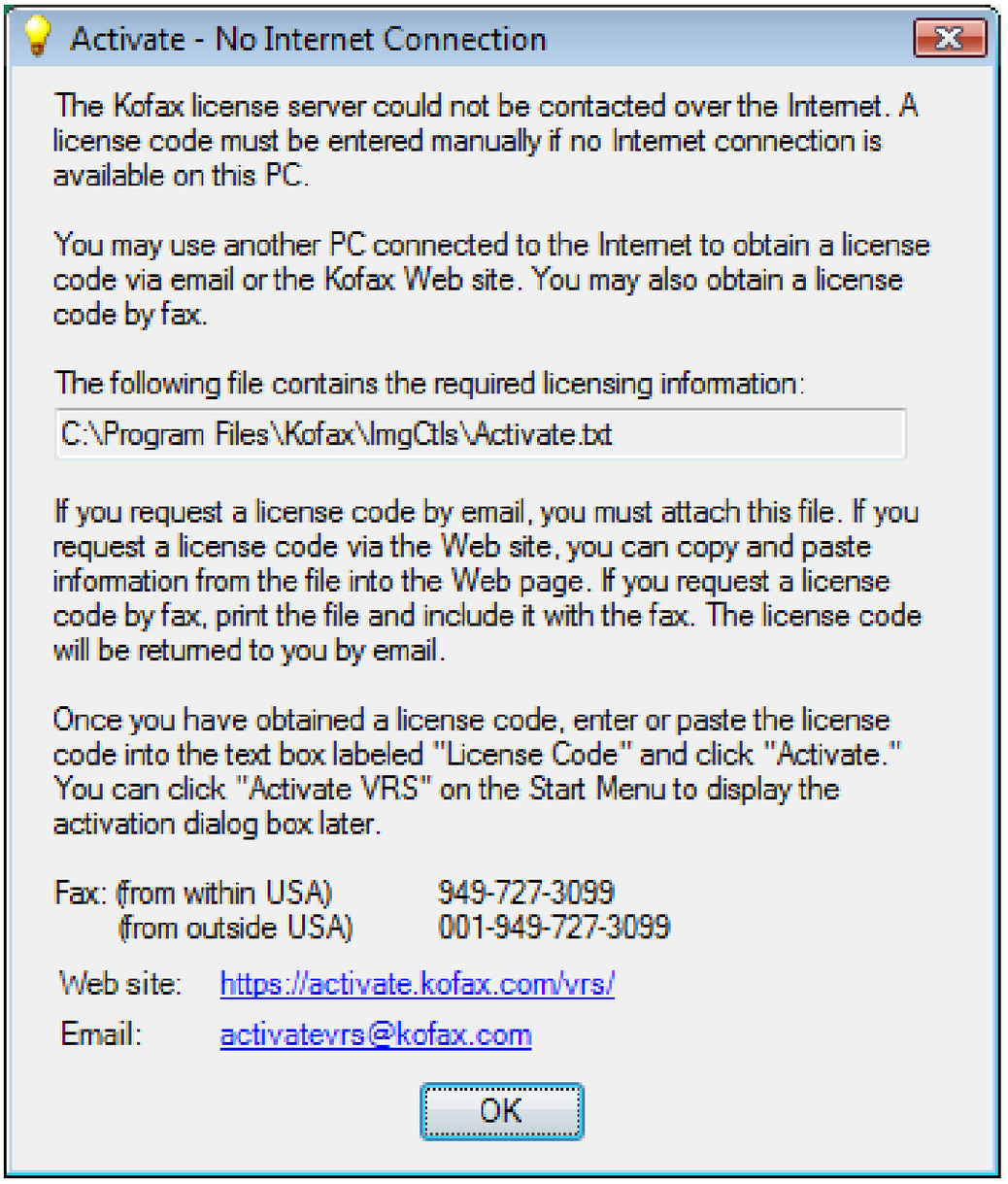


図 11 [アクティベーション - インターネット未接続] ダイアログ ボックス

▶ インターネット未接続時の VRS ライセンスのアクティベーション

1 [アクティベーション - インターネット未接続] ダイアログ ボックスでは、インターネットに接続せずにライセンス コードを取得する 3 つの方法が示されます。どの方法を選択しても、Activate.txt ファイルにあるライセンス情報を

提供する必要があります。このファイルのパスは、[アクティベーション - インターネット未接続] ダイアログ ボックスに表示されています。

2 [OK] をクリックして、[アクティベーション - インターネット未接続] ダイアログ ボックスを閉じます。

3 VRS ライセンスのアクティベーションは、次の**いずれか**の方法で行ってください。

- インターネット に接続している別のコンピュータから 、activatevrs@kofax.com に電子メールを送り ます。この場合、電子メールに Activate.txt ファイルを添付してください。Activate.txt ファイルのパスは、[アクティベーション - インターネット 未接続] ダイアログ ボックスに表示されています。
- インターネットに接続している別のコンピュータでブラウザを起動して、http://activate.kofax.com/vrs にアクセスします。アクティベーション中に、Activate.txt ファイルから情報をコピーして、Web サイトのフォームに入力してください。Activate.txt ファイルのパスは、[アクティベーション - インターネット未接続] ダイアログ ボックスに表示されています。
- ダイアログ ボックスに表示されている番号に FAX します。この場合、Activate.txt ファイルを印刷したものを FAX してください。Activate.txt ファイルのパスは、[アクティベーション - インターネット未接続] ダイアログ ボックスに表示されています。

メモ 特に指定しない限り、Activate.txt ファイルで指定された電子メールにライセンス コードが送られます。

---

4 ライセンス コードを取得後、[VRS のアクティベーション] ダイアログ ボックスの [ライセンス コード] セクションにライセンス コードを入力し、[アクティベーション] をクリックします。

インストール後の VRS 基本ライセンスの登録

VRS 基本ライセンスの場合は、インストール時に登録するよう指示されます。インストール時にこれを行わなかった場合は、このセクションの手順に従って、登録を行うことができます。ライセンスを登録することによって、テクニカル サポートおよび製品のアップデートを利用できるようになります。

▶ VRS 基本ライセンスの登録

1 Windows の [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] ー [Kofax VRS] ー [VRS の登録] を選択します。

2 [VRS の登録] ダイアログ ボックスが表示されます (図 12)。

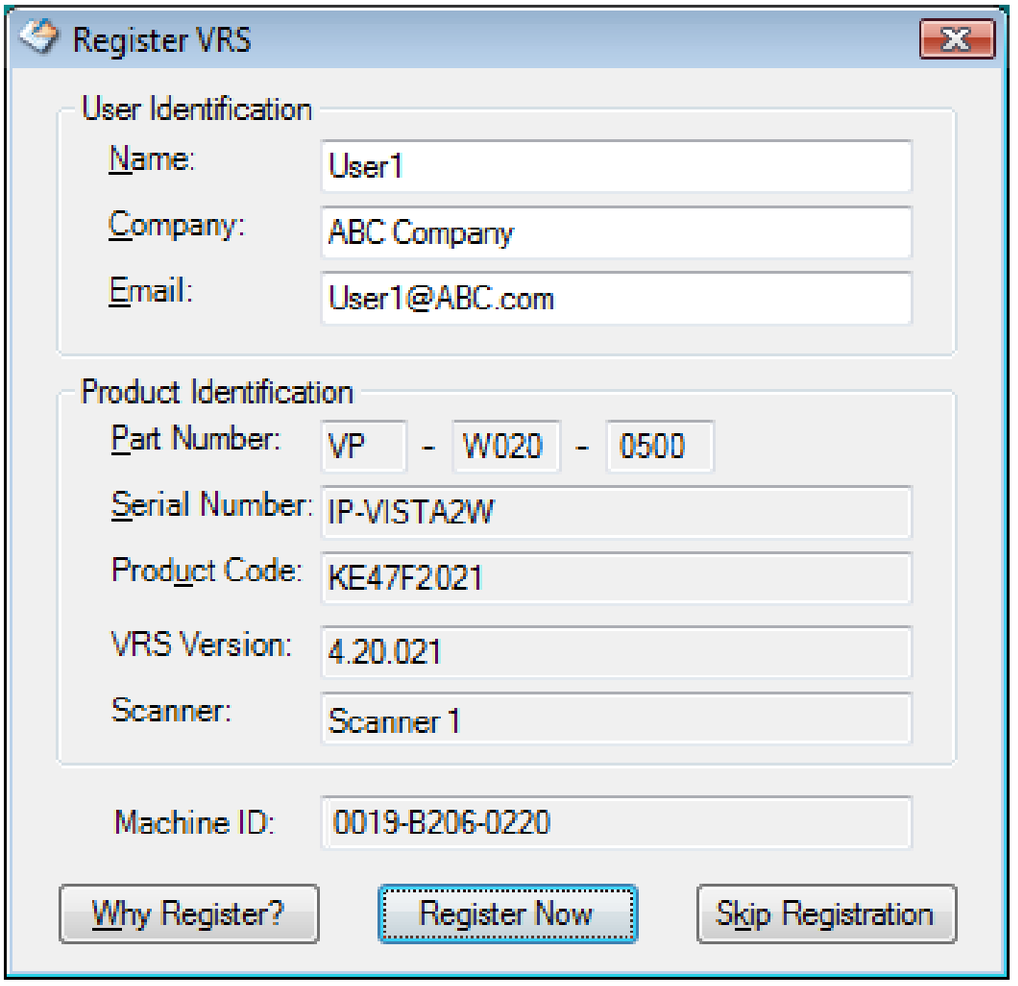


図 12 [VRS の登録] ダイアログ ボックス

3 [ユーザー ID] では、次の項目を更新することができます。これらのフィールドには、VRS のインストール時に入力した値が設定されていることがあります。

- 名前 : 名前を入力します。
- 会社名 : 会社名を入力します。
- E メール : 電子メールを入力します。

4 [製品 ID] には、VRS のインストール時に入力した値が設定されています。この項目は更新できません。

5 次の**いずれか**を行います。

a VRS 製品を登録することによって得られる利点についての説明が表示されます。ダイアログ ボックスは、[OK] をクリックして終了します。

b [今すぐ登録] をクリックして、ライセンスの登録処理を完了します。ライセンス コードとその他のフィールドの入力値が正しければ、確認メッセージが表示されます。VRS がライセンス サーバーに接続できない場合は、[登録 - インターネット未接続] ダイアログ ボックスが表示されます。詳細は、次のセクションを参照してください。

c [登録のスキップ] をクリックして、登録処理をスキップします。このオプションを選択すると、確認メッセージが表示されます。[はい] または [いいえ] をクリックします。

インターネット未接続時の VRS 基本ライセンスの登録

[VRS の登録] ダイアログ ボックスから [今すぐ登録] をクリックしたときに、インターネットに接続されていないと、別の方法で製品の登録を行う必要があります。この場合は、[登録 - インターネット未接続] ダイアログ ボックス (図 13) が表示され、選択できるオプションのリストが表示されます。



図 13 [登録 - インターネット未接続] ダイアログ ボックス

▶ インターネット未接続時に VRS 基本ライセンスを登録するには

1. [登録 - インターネット未接続] ダイアログ ボックスでは、インターネットに接続せずに製品の登録を行う 3 つの方法が示されます。どの方法を選択しても、Register.txt ファイルにある情報を提供する必要があります。このファイルのパスは、[登録 - インターネット未接続] ダイアログ ボックスに表示されています。
2. [OK] をクリックして、[登録 - インターネット未接続] ダイアログ ボックスを閉じます。
3. インターネットに接続せずに VRS ライセンスの登録を行う場合は、次の**いずれか**の方法で行ってください。
   - ダイアログ ボックスに表示されている番号に FAX します。この場合、Register.txt ファイルを印刷したものを FAX してください。Register.txt ファイルのパスは、[登録 - インターネット未接続] ダイアログ ボックスに表示されます。
   - インターネットに接続している別のコンピュータでブラウザを起動して、http://activate.kofax.com/vrs にアクセスします。Register.txt ファイルから情報をコピーして、Web サイトのフォームに入力してください。Register.txt ファイルのパスは、[登録 - インターネット未接続] ダイアログ ボックスに表示されます。
   - インターネットに接続している別のコンピュータから、activatevrs@kofax.com に電子メールを送ります。この場合、電子メールに Register.txt ファイルを添付してください。Register.txt ファイルのパスは、[登録 - インターネット未接続] ダイアログ ボックスに表示されます。

VRS ライセンスのアップグレード

VRS 4.2 を有効なライセンスで実行している場合は、[今すぐアップグレード] オプションを利用して、よりレベルの高い VRS ライセンスを購入し、アクティベーションを行うことができます。VRS 基本ライセンスから VRS プロフェッショナル ライセンスへアップグレードしたり、既存の VRS プロフェッショナル ライセンスから拡張機能や高速スキャナに対応した別の VRS プロフェッショナル ライセンスにアップグレードすることができます。

▶ VRS をアップグレードするには

1. Windows の [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] ー [Kofax VRS] ー [今すぐアップグレード] を選択します。[VRS のアップグレード] ダイアログ ボックスが表示されます (図 14)。

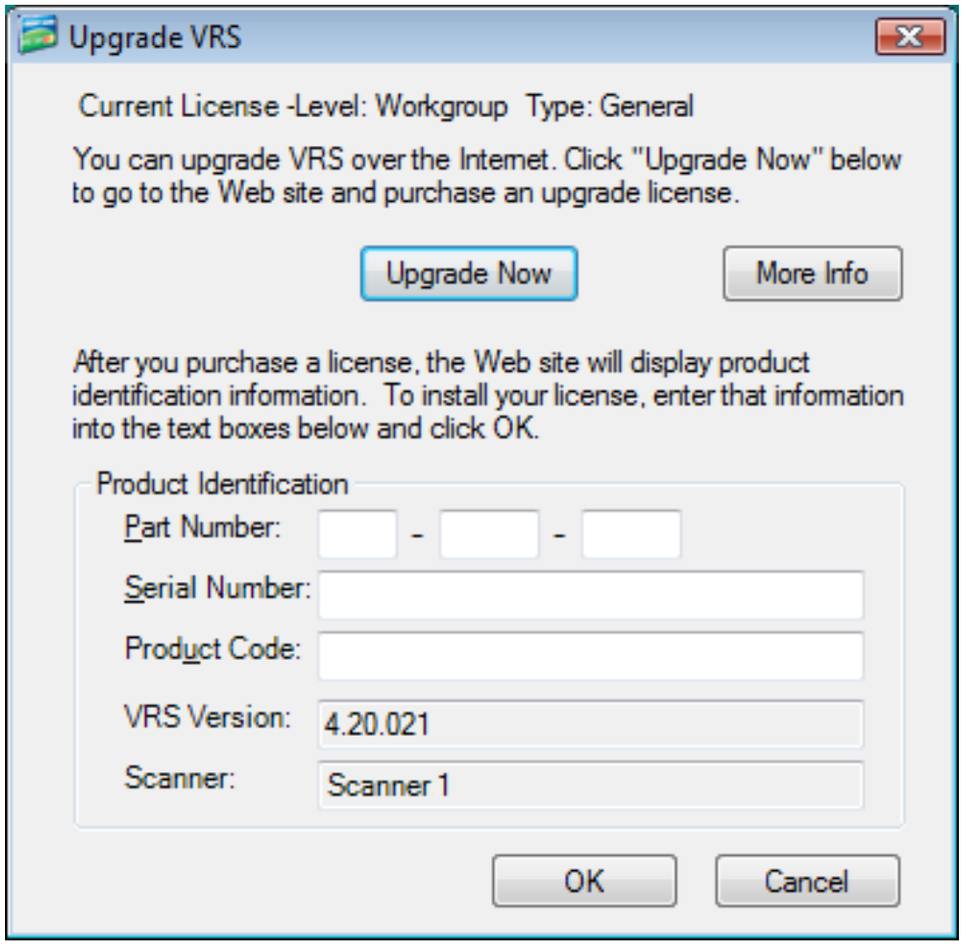


図 14 [VRS のアップグレード] ダイアログ ボックス

2 [今すぐアップグレード] をクリックすると、ブラウザが起動し、VRS 製品ライセンスのアップグレードを購入するための Kofax Web サイト が表示されます。

3 Web サイトの手順に従って、購入手続きを完了してください。

4 処理が完了すると、[VRS のアップグレード] ダイアログ ボックスの製品 ID セクションにコピーする情報が発行されます。次の製品情報は、Web サイトから入手できますが、電子メールでも送られます。

- パート番号

- シリアル番号
- 製品コード

5 [VRS のアップグレード] ダイアログ ボックスの製品 ID セクションに情報をコピーして、[OK] をクリックします。

6 一部の情報が既に入力された [VRS のアクティベーション] ダイアログ ボックスが表示されます。[ライセンス コードの取得] ボタンをクリックします。ライセンスのアクティベーションが完了すると、確認メッセージが表示され、ダイアログ ボックスは閉じます。

ライセンスがアクティベーションされると、新しいライセンスで VRS を使用できるようになります。

SCSI スキャナ コントローラの取り付け

ここでは、SCSI スキャナ コントローラの取り付け方法を説明します。SCSI スキャナ コントローラを使用しない場合は、このセクションをスキップして、45 ページの「スキャナの取り付け」に進みます。

▶ SCSI スキャナ コントローラを取り付けるには

1 コンピュータをシャットダウンして、コンセントを外します。

メモ コンセントを外す前に、製造元の手順書に従って静電気を放電してください。

---

2 次の**いずれか**を行います。

- Kofax Adrenaline 650 または 650i SCSI スキャナ コントローラを使用する場合は、57 ページの「Adrenaline SCSI スキャナ コントローラのセットアップ」を参照してください。
- Kofax 以外の SCSI スキャナ コントローラを使用する場合は、製造元の手順に従って取り付けを行ってください。

3 SCSI スキャナ コントローラを取り付けた後は、コンセントを差込み、コンピュータの電源を入れます。

4 Windows XP を使用している場合、互換性メッセージが表示されます。[続行] をクリックして、次のステップに進んでください。

5 [マイ コンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] ー [ハードウェア] ー [デバイス マネージャ] を選択します。

6 デバイスのリストから [SCSI と RAID コントローラ] を開いて、SCSI スキャナ コントローラの名前が表示されていることを確認します。Kofax SCSI スキャナ コントローラの場合、"Kofax Adrenaline <650/650i>" という名前が表示されます。

スキャナの取り付け

コンピュータにスキャナがまだ取り付けられていない場合は、このセクションの手順に従って、スキャナとコンピュータを正しく接続します。動作保証されているスキャナ ケーブルを使用していることを必ず確認してください。使用できるスキャナ ケーブルは、Kofax Web サイト (www.kofax.com) の Scanner Configurator から確認できます。

▶ スキャナをコンピュータに接続するには

1. コンピュータとスキャナの電源をオフにして、コンセントを外します。
2. スキャナ ケーブルをスキャナとコンピュータの適切なポート (SCSI、USB、または FireWire) に付けます。
3. スキャナの電源をコンセントに差し込み、スキャナの電源を入れます。
4. コンピュータの電源をコンセントに差し込み、コンピュータの電源を入れます。ここで、新しいハードウェアの検出ウィザードが表示される場合があります。その場合は、49 ページの「新しいハードウェアの検出ウィザードによる設定」の手順を参照してください。そうでない場合、スキャニング アプリケーションをインストールすることで VRS を使用できます。

TWAIN のインストール

VRS で動作保証されたスキャナの TWAIN ドライバをインストールする必要がある場合、製造元のインストール ガイドに従って TWAIN ドライバをインストールしてください。TWAIN ドライバは、VRS ソフトウェアのインストール前でも後でもインストールすることができます。動作保証されていない (互換性のない) VRS スキャナをインストールするには、3 ページの「VRS スキャナ : 動作保証されたスキャナとそれ以外のスキャナ」を参照してください。

USB および FireWire のインストール

このセクションでは、USB または FireWire スキャナの一般的なインストール手順と設定手順を説明します。いくつかのスキャナでは特殊な設定が必要とされるため、製造元のインストール ガイドも参照してください。

▶ USB または FireWire スキャナを取り付けて、設定するには

1 次の**いずれか**を行います。

- USB ケーブルをスキャナから USB ポートに接続します。
- FireWire ケーブルをスキャナから FireWire ポートに接続します。

Windows が新しいデバイスを検出し、新しいハードウェアの検出ウィザードが表示されます。

2 画面の指示に従い、スキャナに付属しているインストール CD の中で必要なドライバを選択します。

3 スキャナが正しく取り付けられていることを確認してください。詳細は、48 ページの「スキャナの接続の確認」を参照してください。

4 次の「USB/FireWire ドライバ インストール後の操作」を確認します。

5 スキャニング アプリケーションをインストールします。詳細は、50 ページの「スキャニング アプリケーションのインストール」を参照してください。

USB/FireWire ドライバ インストール後の操作

スキャナによっては、イベントが発生したとき、特定の動作を起こすように設計されているものがあります。たとえば、いくつかのスキャナでは ADF に紙を挿入したときに Microsoft のイメージング アプリケーションを自動的に起動するように設定されています。VRS で最良の結果を得るには、VRS をインストールする前にそのようなデバイスのイベントをすべて無効にすることを推奨します。

▶ デバイスのイベントを無効にするには

1. Windows の [スタート] メニューから、[コントロール パネル] ー [スキャナとカメラ] を選択します。
2. インストールされたデバイスのリストからスキャナを選択し、右クリック メニューから [プロパティ] を選択します。
3. [スキャナのプロパティ] ダイアログ ボックスから、[イベント] タブを選択して、[スキャナのイベント] リストからデバイスのイベントを選択します。
4. [動作] リストから、[何もしない] を選択します。
5. 不要なデバイスのイベントをすべて無効にするまで、ステップ 3 ～ 4 を繰り返します。

メモ デバイス イベントを復元するには、[何もしない] をクリアします。

---

6. [適用] 、[OK] を選択して、[スキャナのプロパティ] ダイアログ ボックスを終了します。

スキャナの接続の確認

次の手順の従って、スキャナが正しく接続されているかどうかを確認します。

▶ スキャナの接続ステータスを確認するには

1. Windows のデスクトップから、[マイ コンピュータ] を右クリックします。
2. [管理] を選択します。
3. [コンピュータの管理] で、[デバイス マネージャ] アイコンをダブルクリックします。右側にシステム上のデバイスが表示されます。

4 [イメージング デバイス] アイコンをダブルクリックします。

5 システムに正常に接続されると、スキャナが [イメージング デバイス] 以下に表示されます。これが表示されない場合は、USB/FireWire ケーブルの接続を確認するか、コンピュータを再起動します。再起動後、再度デバイスのリストを確認してください。スキャナの接続に問題がある場合は、製造元に問い合わせてください。

6 [コンピュータの管理] コンソールを閉じます。

新しいハードウェアの検出ウィザードによる設定

このセクションで説明する手順に従って、スキャナをコンピュータに取り付けた後に表示される、新しいハードウェアの検出ウィザードを完了します。

1 ソフトウェアを自動的にインストールするオプションを選択し、[次へ] をクリックします。

2 ウィザードが適切なデバイスおよびファイルを検出できない場合は、別の画面が表示されます。この場合は、[このソフトウェアをインストールする確認を今後表示しない] オプションを選択して、[完了] をクリックします。

3 コンピュータを再起動するオプションを選択します。

また、Windows 2000 では、次の方法でも可能です。

1 新しいハードウェアの検出ウィザードが表示されたら、VRS インストール CD を CD-ROM ドライブに挿入します。ソフトウェアを自動的にインストールするオプションを選択し、[次へ] をクリックします。

2 CD-ROM ドライブを検索するオプションを選択します。

3 デバイスを無効にするオプションを選択し、[完了] をクリックします。その後、コンピュータを再起動するオプションを選択します。

スキャニング アプリケーションのインストール

このセクションの手順に従って、VRS が使用するスキャニング アプリケーションをインストールします。VRS デスクトップ プロダクティビティ機能だけを使用する場合は、スキャニング アプリケーションをインストールする必要はありません。

メモ 必要な場合、Kofax VCDemo または Scan Demo (VRS に含まれる ImageControls ベースのデモ スキャニング アプリケーション) を使用して、小容量のスキャニングを実行することも可能です。VCDemo は、VRS のインストール時に自動的にインストールされます。VCDemo に関する詳細は、71 ページの「VCDemo の使用」を参照してください。Scan Demo は、VRS インストール CD に含まれています。オンラインで購入した場合は、インストール フォルダにあります。

▶ スキャニング アプリケーションをインストールするには

1 製造元のインストール ガイドに従って、ImageControls ベース、TWAIN、または ISIS スキャニング アプリケーションをインストールします。

2 サンプル ドキュメントをいくつかスキャンして、アプリケーションが正常に動作していることを確認します。

メモ 他の Kofax 製品と併せて ImageControls ベースのアプリケーションをインストールする場合は、11 ページの「インストールに関する注意事項」を参照してください。

製品アップデートの確認

ライセンスを購入すると、VRS 製品の拡張機能を利用できます。VRS プロフェッショナル ライセンスがアクティブな場合、アップデートの有無をチェックし、ダウンロードすることが可能です。

VRS のインストールの最後に、VRS アップデート マネージャが自動的に起動されます。デフォルトでは、その後、6 週間ごとに起動されます。製品のアップデートを確認するには、次の 2 つの方法があります。

- 通常のスケジュールにより、VRS アップデート マネージャが自動的に表示される際に、製品のアップデートを確認する。
- VRS アップデート マネージャを手動で起動し、製品のアップデートを確認する。

メモ [アップデートの確認] 機能は、VRS 製品のアップデートを対象にしています。VRS Component Installer の確認は、Kofax Web サイトの製品ページで参照してください。

アップデートの自動確認

デフォルトでは、VRS アップデート マネージャは、6 週間ごとに自動的に起動されます。VRS アップデート マネージャが起動されると、VRS 製品のアップデートを確認するよう指示されます。利用可能なアップデートがある場合は、ダウンロードし、インストールするよう指示されます。アップデートの自動確認が有効な場合、指定した間隔の後、VRS で使用可能なスキャニング アプリケーションを閉じてから、VRS アップデート マネージャは初めて表示されます。

デフォルトでは、VRS アップデート マネージャは、6 週間ごとに自動的に起動されますが、[オプション] ダイアログ ボックスを使用して、2 週間ごとや 3 週間ごとなど、異なる間隔を指定することもできます。また、アップデートの自動確認を無効にすることもできます。アップデートの自動確認が有効な場合、VRS アップデート マネージャは、指定した日の午前 8 時に起動されます。指定された日時にコンピュータが動作していない場合、VRS アップデート マネージャは、次回コンピュータが立ち上がるときに起動されます。

アップデートの自動確認を無効にすると、VRS アップデート マネージャは、手動で起動するまで表示されません。VRS アップデート マネージャは、Windows の [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] ー [Kofax VRS] から手動で起動することができます。[オプション] ダイアログ ボックスの設定に関する詳細は、VRS オンライン ヘルプを参照してください。

アップデートの手動確認

Kofax VRS プログラム フォルダから [アップデートの確認] オプションを選択することにより、いつでも VRS アップデート マネージャを起動することができます。アッ

プデートの自動確認を無効にする場合や、任意の間隔でアップデートの確認を行う場合に役立ちます。

アップデートの確認、ダウンロード、およびインストール

VRS アップデート マネージャから [今すぐ確認] を選択すると、マシン上の VRS ソフトウェアがチェックされ、まだインストールされていない製品アップデートの一覧が表示されます。各アップデートの説明、ファイル サイズ、通常のダウンロード時間 (実際の時間は異なることがあります) も表示されます。VRS 製品のアップデートは累積されます。複数のアップデートが表示された場合、最新のアップデートには、それ以前のすべてのアップデートが含まれています。

メモ 適用可能なアップデートをインストールする場合、インストールする前に、既存の VRS 製品アップデートは削除されます。

VRS 製品のアップデートをダウンロードし、インストールするには、管理者権限が必要です。

製品のアップデートをダウンロードしても、すぐにインストールしない場合、VRS アップデート マネージャは、次回起動時に、前回アップデートがダウンロードされたことを記憶しています。

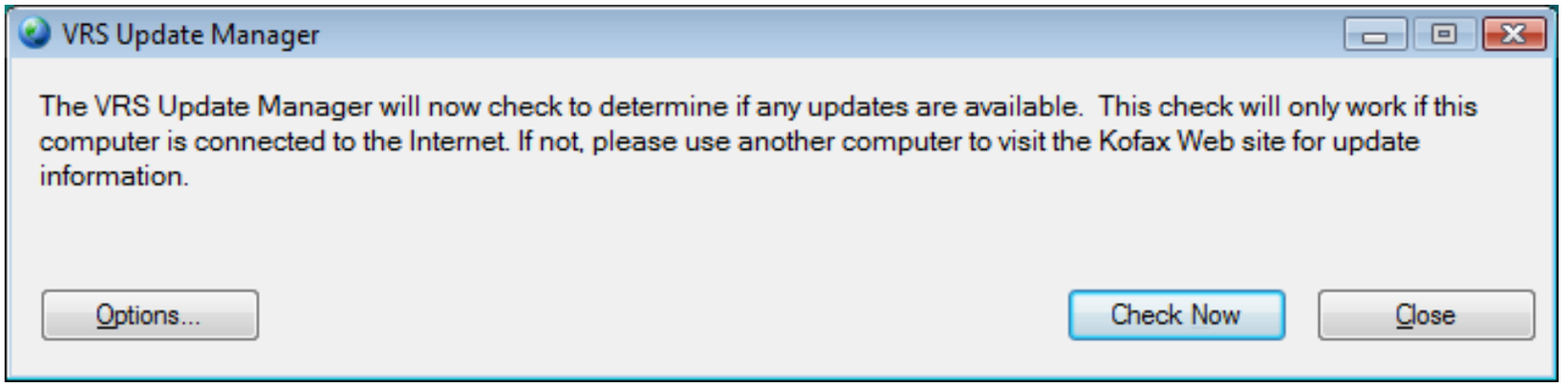


図 15 [VRS アップデート マネージャ] ダイアログ ボックス

▶ VRS 製品アップデートの確認、ダウンロード、およびインストールをするには

1 次の**いずれか**を行います。

自動アップデート

- VRS アップデート マネージャから [今すぐ確認] をクリックします。[VRS アップデート マネージャ : 利用可能なアップデート] ダイアログ ボックスが表示されます。

手動アップデート

- Windows の [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] ー [Kofax VRS] ー [アップデートの確認] を選択し、[今すぐ確認] をクリックします。

2 利用可能な製品のアップデートは、[VRS アップデート マネージャ : 利用可能なアップデート] ダイアログ ボックスで確認できます。次の**いずれか**を行います。

- ダウンロードし、インストールする製品のアップデートに対応するチェック ボックスを選択します。1 つ選択すると、リストにある他の製品アップデートはグレー表示になります。
- [利用可能なアップデート] リストに製品のアップデートが表示されない場合は、[閉じる] をクリックして、VRS アップデート マネージャを終了します。

3 [ダウンロード] をクリックします。ダウンロード中は、処理状況が表示されます。処理が完了すると通知され、ダウンロードしたアップデートの場所を示すメッセージが表示されます。

ダウンロードは、[キャンセル] をクリックして、いつでも中止することができます。

メモ 製品のアップデートをダウンロードし、インストールするには、管理者権限が必要です。

---

4 次の**いずれか**を行います。

- [インストール] をクリックして、新しくダウンロードしたアップデートのインストールを開始します。画面の指示に従ってください。
- [閉じる] をクリックすると、ダウンロードしたアップデートをインストールせずに VRS アップデート マネージャを終了します。VRS アップデート マネージャは、次回起動時に、前回アップデートがダウンロードされたことを記憶しています。

製品アップデートのアンインストール

VRS 製品のアップデートをインストールすると、[プログラムの追加と削除] (Windows Vista の場合は [プログラムと機能]) の [現在インストールされているプログラム] リストに、VRS とは別に表示されます。VRS 製品アップデートをアンインストールしても、VRS はそのまま残ります。ただし、VRS をアンインストールすると、関連するすべての製品アップデートは自動的に削除されます。

Adrenaline SCSI スキャナ コント ローラのセット アップ

はじめに

この章では、Adrenaline SCSI スキャナ コントローラのセットアップとテストに必要な情報について説明します。(Kofax 製以外のスキャナ コントローラを使用する場合は、製造元の手順書に従ってセットアップを行ってください。)

推奨する Kofax Adrenaline SCSI スキャナ コントローラのセットアップ方法は以下のとおりです。

1. ソフトウェアのインストール (次のセクションを参照)
2. SCSI スキャナ コントローラの取り付け (58 ページの「SCSI スキャナ コントローラの取り付け」を参照)
3. ソースの作成と設定 (60 ページの「スキャン ソースの作成と設定」を参照)
4. 取り付け後のテスト (60 ページの「VCDemo を使用したテスト」を参照)

ソフトウェアのインストール

Adrenaline SCSI スキャナ コントローラに必要なファイルとドライバをインストールするには、第 2 章の「VRS のインストール手順」に従ってください。VRS ソフトウェアをインストールせずに、スキャナ コントローラのセットアップだけを行う場合は、以下に示すように、インストール手順が多少異なります。

- VirtualReScan セットアップ初期画面が表示されたら、Adrenaline SCSI コントローラのみインストール オプションを選択して、[次へ] をクリックします。
- [ユーザー ID]、[製品 ID]、および [VRS のアクティベーション] 画面に関連する手順はスキップします。

VRS ソフトウェアをインストールせずに、Adrenaline SCSI スキャナ コントローラのセットアップだけを行う場合の例外についても、第 2 章の手順で説明されています。

SCSI スキャナ コントローラの取り付け

ここでは、Adrenaline SCSI スキャナコントローラの取り 付け手順について説明します。

注意

Adrenaline SCSI スキャナコントローラを取り 扱う 際には、次の点に注意してください。

- 取り付けを行うまでは、購入時のボックスに入れて保管します。
- コントローラを取り付ける前に、コンピュータをシャットダウンして、コンセントを外します。
- コントローラに触れる前に、コンピュータなど金属のものに触って静電気を放電します。
- コントローラを取り扱うときは、端を持ち、金属面には触れないようにします。

▶ SCSI スキャナ コントローラを取り付けるには

1 コンピュータの電源がオフになっており、コンセントが外れていることを確認します。

メモ コンセントを外す前に、製造元の手順書に従って静電気を放電してください。

---

2 約 10 秒間待ってから、コンピュータのカバーを外します。

3 SCSI スキャナ コントローラを PCI スロットに取り付けます (9 ページの「PCI スロットの要件」を参照)。

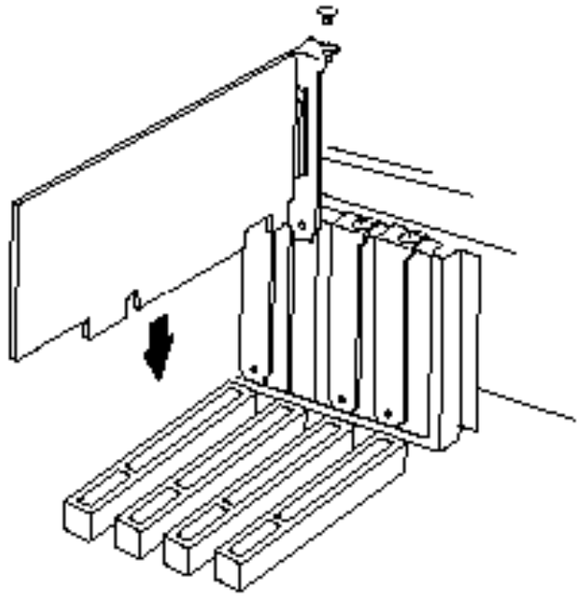


図 16 Adrenaline SCSI スキャナ コントローラのセットアップ

4 コンピュータのカバーを元に戻し、コンピュータの電源を入れます。

5 ここで、新しいハードウェアを検出し、適切なドライバを検索するメッセージが表示されます。ドライバは自動的にロードされます。

6 これで、Adrenaline SCSI スキャナ コントローラが使用できるようになりました。

スキャン ソースの作成と設定

スキャニング アプリケーションを使用する際には、毎回、Adrenaline SCSI スキャナ コントローラに関連付けられているスキャン ソースを選択する必要があります。

セットアップ時に表示されたリストからスキャナを選択した場合は、スキャン ソースが既にインストールされており、スキャニング アプリケーションから選択することができます。必要に応じて、**スキャナ設定ユーティリティ**でこのソースの設定を更新できます。

セットアップ時にスキャナがリストに表示されなかった場合は、[後でスキャナを設定する] チェック ボックスをオンにしてインストールされています。この場合は、**スキャナ設定ユーティリティ**でスキャナと Adrenaline SCSI スキャナ コントローラで使用するスキャン ソースを作成する必要があります。

VCDemo を使用したテスト

VCDemo を使用して、セットアップした Adrenaline SCSI スキャナ コントローラをテストできます。VCDemo ツールバーおよびメニューに関する詳細は、71 ページの「VCDemo の使用」を参照してください。

VRS のアンインストール

はじめに

この章では、VRS および関連したコンポーネントをアンインストールする方法について説明します。VRS のアンインストール時に、VRS ライセンスのアクティベーション解除を実行するよう指示されます。後で VRS を同じコンピュータに再インストールする場合を除き、ライセンスのアクティベーションを解除してください。また、既存の VRS プロファイルを削除するかどうかを確認するダイアログも表示されます。

VRS と関連したコンポーネントのアンインストール

このセクションでは、Windows のコントロール パネルにある [プログラムの追加と削除] (Windows Vista の場合は [プログラムと機能]) から、VRS と関連したコンポーネントをアンインストールする方法について説明します。

メモ Kofax Capture の一部として VRS をインストールした場合は、[プログラムの追加と削除] (Windows Vista の場合は [プログラムと機能]) リストに VRS は表示されません。Kofax Capture をアンインストールすると、VRS も自動的にアンインストールされます。詳細は、Kofax Capture のドキュメントを参照してください。

VRS 製品アップデート、サービス パック、Component Installer をアンインストールしても、VRS はそのまま残ります。ただし、VRS をアンインストールすると、関連するすべての製品アップデート、サービス パック、Component Installer は削除されます。

▶ VRS をアンインストールするには

1. 次の**いずれか**を行います。
   - Windows の [スタート] メニューから、[コントロール パネル] ー [プログラムの追加と削除] を選択します。
   - [スタート] メニューから、[コントロール パネル] ー [プログラムと機能] を選択します。(Windows Vista)
2. [現在インストールされているプログラム] の一覧から、"Kofax VirtualReScan 4.20" を選択します。
3. [変更] をクリックします。VRS と関連したコンポーネントをアンインストールする、ウィザードが起動します。
4. [ようこそ] 画面が表示されます。[次へ] をクリックして、VRS のアンインストールを続行します。
5. VRS の再インストールまたはアンインストールの確認メッセージで、[削除] を選択して、[次へ] をクリックします。

   アンインストールする VRS コンポーネントを選択するよう指示されます (図 17)。

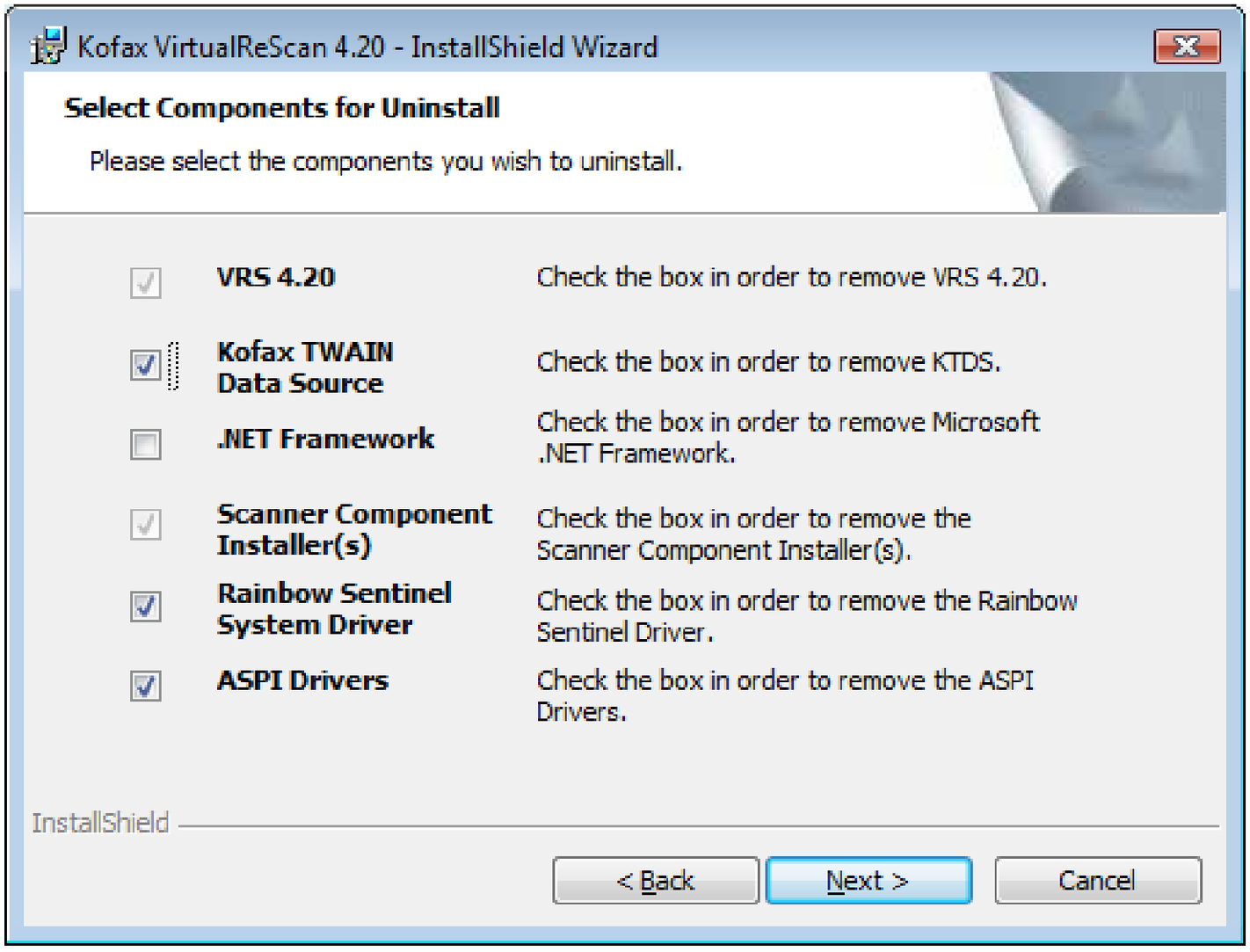


図 17 VRS コンポーネント リスト

6 アンインストールするコンポーネントのチェック ボックスをオンにして、[次へ] をクリックします。

次の点に注意してください。

- リストから VRS 4.20 コンポーネントを選択すると、既存の VRS Component Installer もアンインストールされます。VRS 4.20 を**アンインストールせずに** VRS Component Installer をアンインストールする場合は、[VRS 4.20] チェッ

ク ボックスをオフにしてから、[スキャナ コンポーネント インストーラ] チェック ボックスをオンにします。

- リストから VRS 4.20 コンポーネントを選択すると、既存の VRS サービス パックもアンインストールされます。VRS 4.20 を**アンインストールせずに** VRS サービス パックをアンインストールする場合は、ウィザードを中止します。その後、[プログラムの追加と削除] の [現在インストールされているプログラム] (Windows Vista の場合は [プログラムと機能]) の一覧から VRS サービス パックを選択して、再度アンインストールを行うと、サービス パックをアンインストールしても VRS はそのまま残ります。
- デフォルトでは、Microsoft .NET Framework コンポーネントは**選択されていません。**コンピュータ上のどのアプリケーションでも確実に使用していない場合を除き、Microsoft .NET Framework はアンインストールしないでください。
- リストから VRS 4.20 コンポーネントを選択すると、既存の VRS 製品アップデート / サービス パックもアンインストールされます。

7 [プログラムの削除] ダイアログ ボックスが表示されます。[削除] をクリックしてアンインストールを開始します。

インストール ウィザードによって、指定されたコンポーネントがアンインストールされます。さらに、VRS のインストール時に選択したスキャナのドライバを削除する確認するメッセージが表示されることがあります。画面の指示に従って、確認メッセージで [はい] をクリックしてください。

8 VRS 4.20 のアンインストールを選択した場合は、製品を再インストールするかどうかを確認するダイアログが表示されます。

- [はい] を選択すると、製品ライセンスのアクティベーションを解除する必要はありません。

- [いいえ] を選択すると、[VRS のアクティベーション解除] ダイアログ ボックスが表示され、VRS 製品ライセンスのアクティベーションを解除するように指示されます (図 18)。

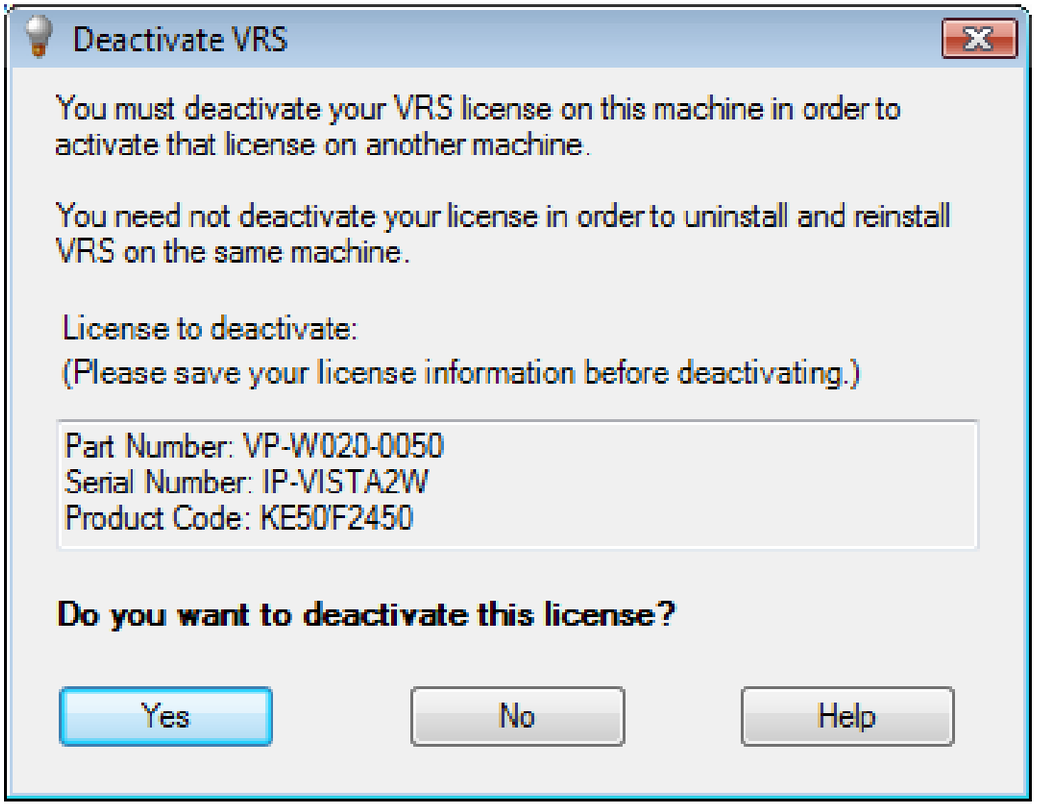


図 18 [VRS のアクティベーション解除] ダイアログ ボックス

9 [VRS のアクティベーション解除] ダイアログ ボックスから、次の**いずれか**を行います。

- [はい] をクリックして、VRS ライセンスのアクティベーションを解除します。後でこのライセンスとシリアル番号を使って別のコンピュータでアクティベーションを行う場合、またはこのライセンスの使用を停止する場合は、このオプションを選択します。[はい] をクリックした後に [アクティベーション解除の失敗] ダイアログ ボックスが表示された場合は、別の方法でライセンスのアクティベーションを解除する必要があります。詳細は、

67 ページの「インターネット未接続時の VRS ライセンスのアクティベーション解除」を参照してください。

- ライセンスをアクティブなままにする場合は、[いいえ] をクリックします。後でこのライセンスとシリアル番号を使って同じコンピュータに再インストールする場合は、このオプションを選択します。また、インターネットに接続されていないために、後でアクティベーションを解除する場合も、このオプションを選択します。この場合は、67 ページの「インターネット未接続時の VRS ライセンスのアクティベーション解除」を参照してください。

10 VRS または Adrenaline に関連するファイルを削除するかどうかを確認するダイアログが表示されたら、次の**いずれか**を行います。

- [はい] をクリックして、ユーザー定義のプロファイルや関連するその他のファイルを含む、すべての VRS プロファイルを削除します。
- [いいえ] をクリックして、ユーザー定義のプロファイルや関連するその他のファイルを残します。どちらを選択しても、デフォルト プロファイルは削除されます。

11 VirtualReScan および関連したコンポーネントのアンインストールが完了すると、確認メッセージが表示され、コンピュータを再起動するよう指示されます。次の **2 つ**の操作を行ってください。

- [完了] をクリックしてメッセージを閉じます。
- コンピュータを再起動して、VRS コンポーネントのアンインストールを完了します。

インターネット未接続時の VRS ライセンスのアクティベーション解除

前のセクションで説明したように、ライセンスのアクティベーション解除は、通常、VRS 製品のアンインストール時、または Windows の [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] － [Kofax VRS] － [VRS のアクティベーション解除] を選択して行います。インターネットに接続している場合は、Kofax ライセンス サーバーと通信することによって、ライセンスのアクティベーションを解除することができますが、インターネットに接続されていない場合は、別の方法で製品ライセンスのアクティベーションを解除する必要があります。

この場合、インターネットに接続している別のコンピュータから、ライセンス サーバーと通信するか、アクティベーション解除の申請を電子メールまたは FAX で送ります。

▶ インターネット未接続時に VRS ライセンスのアクティベーションを解除するには

1. [アクティベーションの解除 - インターネット未接続] ダイアログ ボックスでは、インターネットに接続せずにアクティベーションを解除する 3 つの方法が示されます。どの方法を選択しても、Deactivate.txt ファイルにあるライセンス情報を提供する必要があります。このファイルのパスは、[アクティベーションの解除 - インターネット未接続] ダイアログ ボックスに表示されています (図 19)。

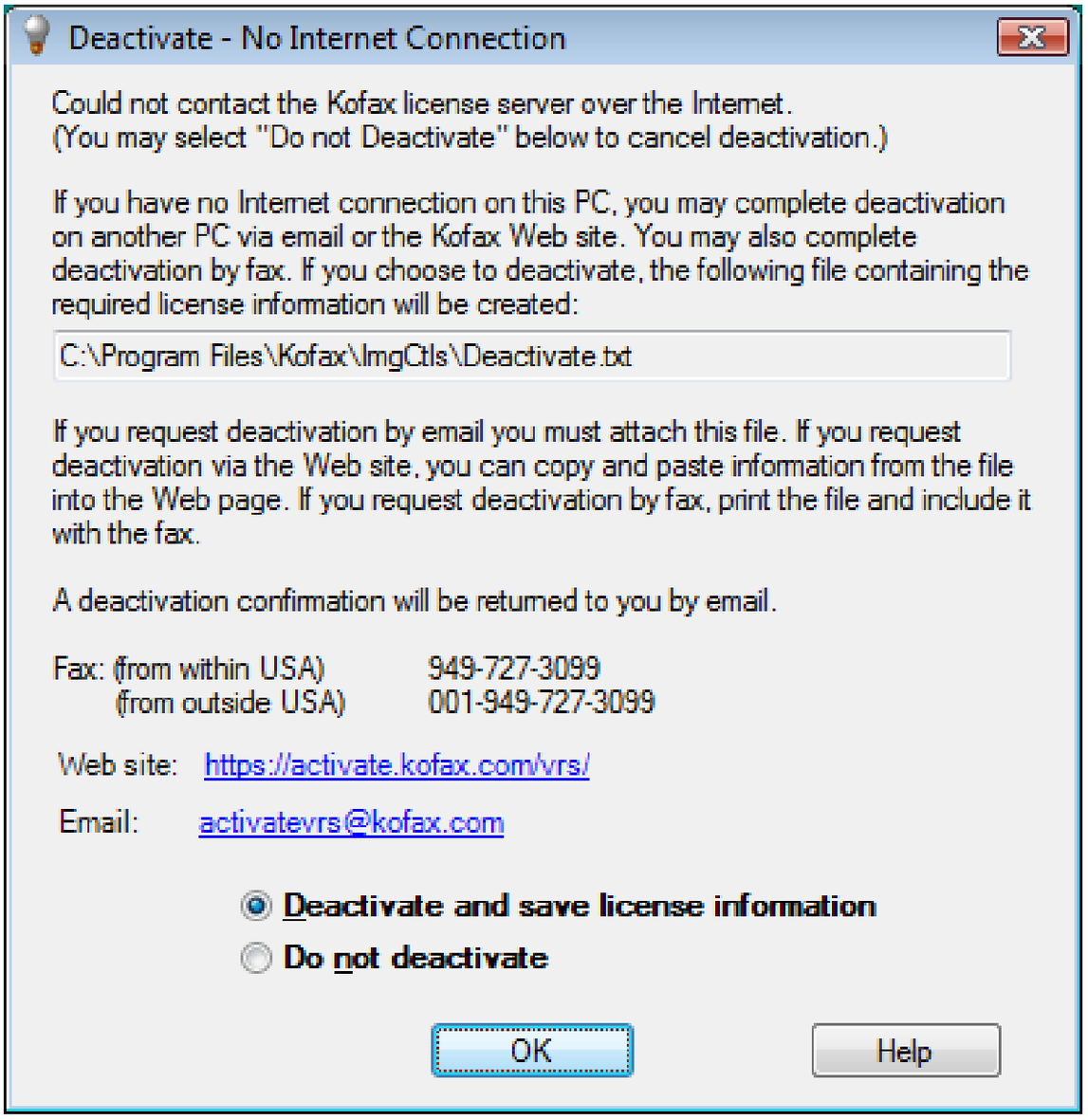


図 19 [アクティベーションの解除 - インターネット未接続] ダイアログ ボックス

2 次の**いずれか**を選択します。

- **アクティベーションを解除して、ライセンス情報を保存する** : VRS ライセンスのアクティベーションを解除して、ライセンス情報をファイル (deactivate.txt) に保存します。このファイルは、後でアクティベーションの

解除を完了するのに必要です。このオプションを選択すると、ローカル コンピュータのライセンスのアクティベーションが解除されたときに、確認メッセージが表示されます。

- **アクティベーションを解除しない** : アクティベーションの解除を中止して、VRS ライセンスをアクティベーション状態のままにします。

3 [OK] をクリックして、ダイアログ ボックスを閉じます。

4 VRS ライセンスのアクティベーションを解除する場合は、次の**いずれか**の方法で行ってください。

- ダイアログ ボックスに表示されている番号に FAX します。この場合、Deactivate.txt ファイルを印刷したものを FAX してください。
- インターネットに接続している別のコンピュータでブラウザを起動して、http://activate.kofax.com/vrs にアクセスします。Deactivate.txt ファイルから情報をコピーして、Web サイトのフォームにその情報を入力してください。
- インターネットに接続している別のコンピュータから、activatevrs@kofax.com に電子メールを送ります。この場合、電子メールに Deactivate.txt ファイルを添付してください。Deactivate.txt ファイルのパスは、[アクティベーションの解除 - インターネット未接続] ダイアログ ボックスに表示されます。

5 アクティベーション解除を申請すると、Kofax から確認メッセージが届きます。特に指定しない限り、確認メッセージは、Deactivate.txt ファイルに記載されている電子メール宛てに送られます。

VCDemo の使用

はじめに

Kofax VCDemo は、イメージのスキャン、インポート、およびイメージ 処理操作を行うことができるデモ アプリケーションです。すべての VRS と Adrenaline SCSI スキャナ コントローラに含まれています。VCDemo を使用してテストを行うことができます。

この付録では、VCDemo の概要、および VCDemo のメニューやツールバーについて説明します。

メモ VCDemo は、デモやテストに適していますが、大容量のスキャニング環境で使用するようには設計されていません。

VCDemo の起動

▶ VCDemo を起動するには

1 Windows の [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] ー [Kofax VRS] ー [VCDemo] を選択します。VCDemo アプリケーションが表示されます (図 20)。



図 20 VCDemo のメイン画面

2 イメージをスキャンするか、またはディスクからイメージをインポートするには、次の操作を行います。

a スキャンを行う場合、スキャナが接続されており、電源が入っていることを確認してください。[Source] メニューから [Scanner] を選択して、スキャナ ソースを選択し、[OK] をクリックします。

b ディスクからイメージをインポートするには、[Source] メニューから [File Import] を選択します。インポートするソースを選択して、[OK] をクリックします。

3 イメージを表示するには (ソース デバイスは必要ありません)、[File] メニューから [Open] を選択します。[Open] ダイアログ ボックスからファイルを選択して、[OK] をクリックします。

4 サンプル アプリケーションのメイン画面からアクセスできるツールバーやメニューを使用して、操作オプションを選択します。その後、イメージを処理します。
例 :

a スキャンを行う場合、[Source] メニューから [Properties] を選択して、さまざまなスキャナ設定を選択できます。次に、スキャナからページのバッチをロードして、[Source] メニューの [Process Batch] を選択し、バッチを処理します。

b ディスクからイメージ ファイルをインポートする場合は、[Source] メニューの [Properties] からさまざまなデバイス オプションを選択して、[Process Batch] を選択します。次に、[Open] ダイアログ ボックスからファイルを選択して [OK] をクリックします。

c 表示されたイメージを印刷するには、[File] メニューから [Print] を選択します。

ツールバーおよびメニューから任意のオプションを使用できます。特定の操作で利用できないオプションは、グレー表示されます。ツールバーおよびメニューに関する詳細は、次のページで説明します。

ツールバー

VCDemo ツールバーのボタンをクリックして、さまざまな操作を実行できます。このツールバーを使用して、頻繁に使用されるいくつかのメニュー項目に素早くアクセスできます。

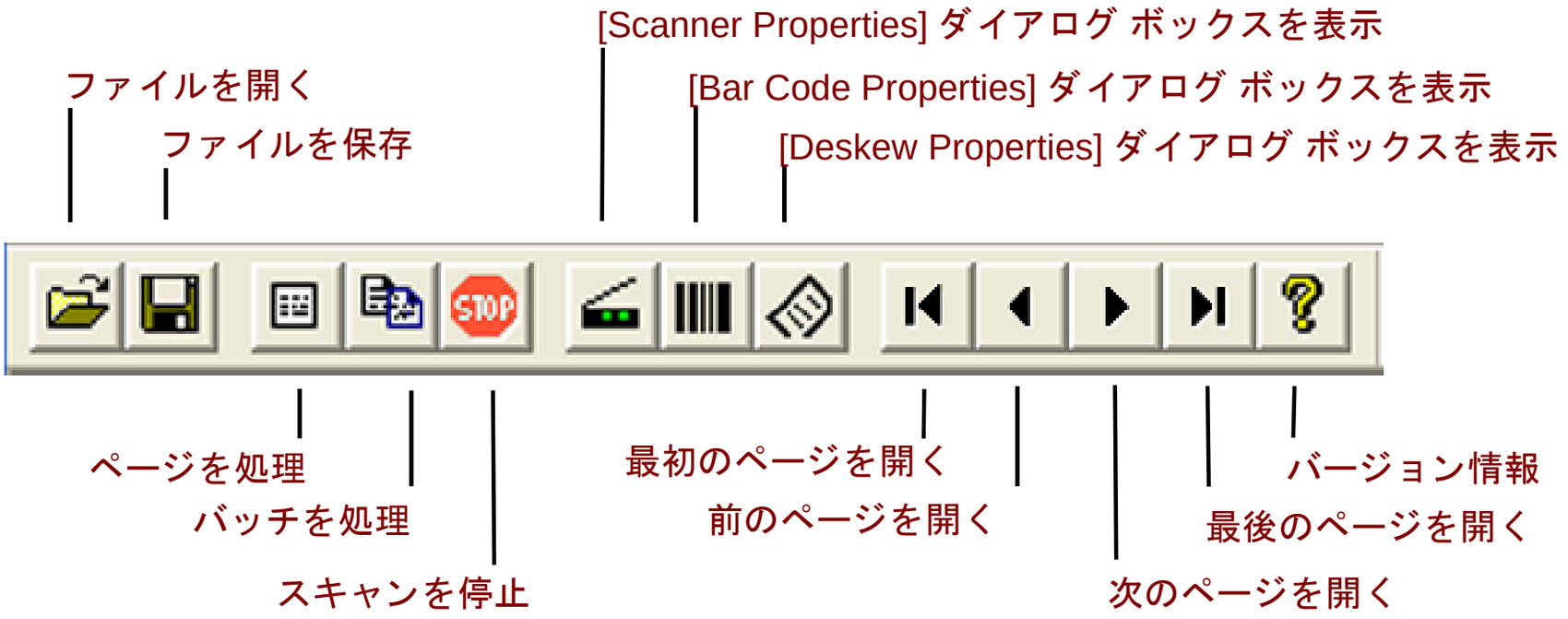


図 21 VCDemo ツールバー

[File] メニュー

[File] メニューのオプションを使用して、ファイル管理タスクを実行したり、VCDemo を終了することができます。

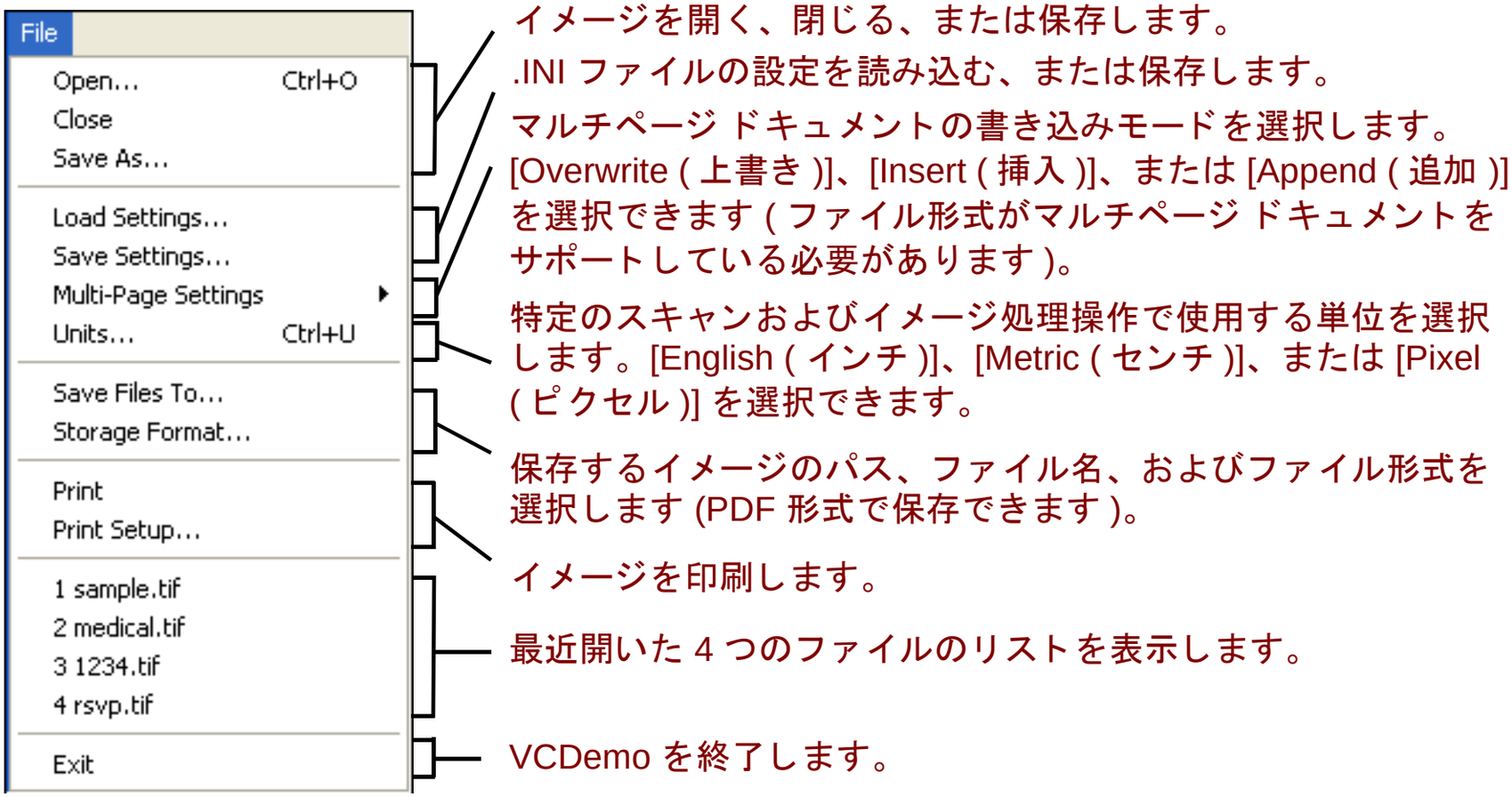


図 22 VCDemo の [File] メニュー

[Source] メニュー

[Source] メニューのオプションを使用して、スキャナを選択したり、スキャナ設定ユーティリティで設定したソースをインポートすることができます。また、1 つあるいは複数のイメージを処理したり、プロパティを設定することもできます。

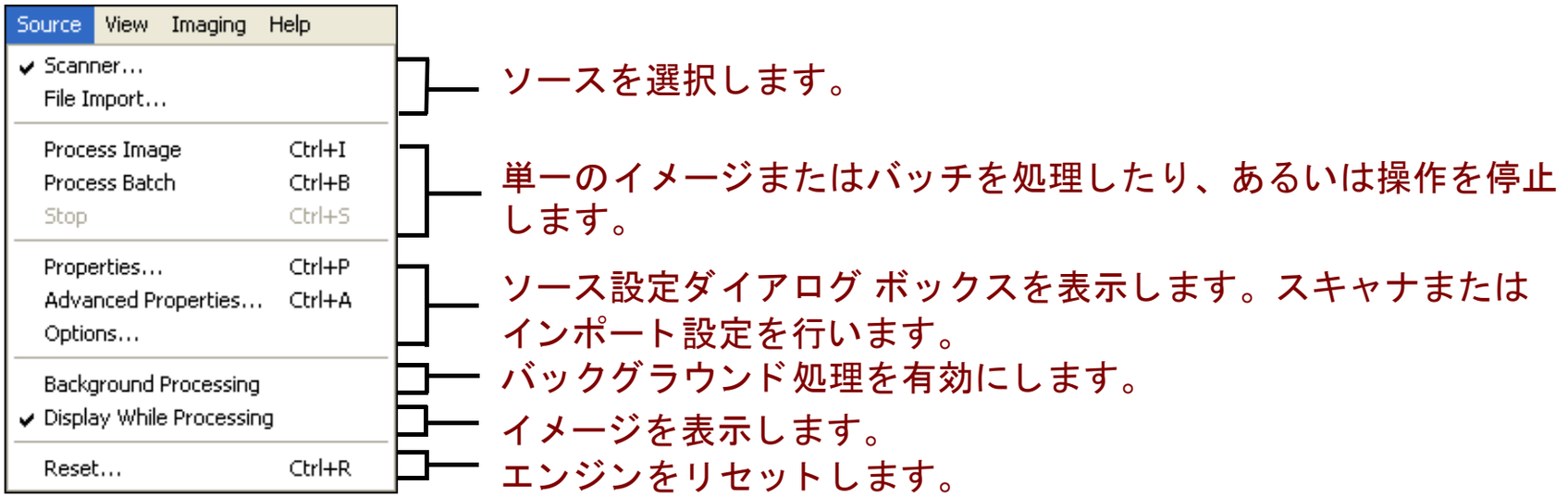
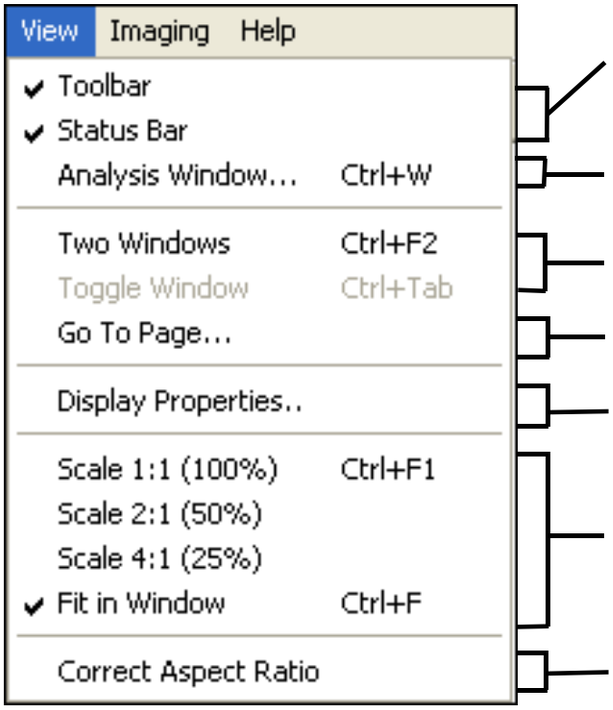


図 23 VCDemo の [Source] メニュー

[View] メニュー

[View] メニューのオプションを使用して、イメージの回転や拡大 / 縮小などのさまざまな表示操作を行うことができます。これらの機能は、表示されたイメージを調整しますが、保存されたイメージには影響しません。また、[View] メニューのオプション以外にも、マウスの左ボタンを使用してイメージを拡大表示できます。イメージがウィンドウに合わせて表示されていない場合は、マウスの右ボタンを使用して、イメージを移動できます。



ツールバーとステータス バーを表示 / 非表示にします。

さまざまな操作の結果をリストする [Analysis] ウィンドウを表示します。

2 つ目のウィンドウを表示し、アクティブなウィンドウを切り替えます。

マルチページ ドキュメントの特定のページを表示します。

イメージの回転や拡大 / 縮小などの設定を適用するダイアログ ボックスを表示します。

イメージの拡大 / 縮小率を変更します。

[Correct Aspect Ratio] 機能を有効にします。
この機能は、異なる縦と横の DPI を持つイメージを表示する際に役立ちます (たとえば Fax イメージなど)。

図 24 VCDemo の [View] メニュー

[Imaging] メニュー

イメージ処理をサポートする Adrenaline イメージ プロセス エンジン (AIPE) がインストールされていない場合、[Imaging] メニューのオプションがグレー表示されることがあります。AIPE がインストールされていると、[Imaging] メニューからパッチ コード認識 (カラー) や傾き補正 (カラー) を含むバー コード認識、パッチ コード認識などのイメージ処理機能を選択できます。その他のオプションは、ブラック ボーダー削除、罫線除去、および斑点除去などのイメージ処理機能を有効にします。これらの機能を使用して、イメージに含まれている不要なボーダー、罫線、または斑点を削除できます。これにより、OCR 認識の精度が向上し、ファイルのサイズも小さくすることができます。

メモ [Imaging] メニューのオプションは、イメージ処理用に設定されたソース デバイスが選択されている場合にのみ利用できます。

また、このメニューには、次の特殊な 2 つのオプションが含まれています。

- **Demo Image Markup** – スキャンされたイメージにアノテーションを行います。このオプションは、イメージの左上隅に時間と日付を挿入します。
- **Auto Endorse/Annotate Properties** – アノテーションとエンドーサ機能のデモンストレーションを行います。このオプションを使用するには、エンドーサ機能を持つスキャナで、さらに、VRS でサポートされていなければなりません。VRS でサポートされた、エンドーサ機能を持つスキャナのリストは、Kofax Web サイト (www.kofax.com) にある Scanner Configurator を参照してください。

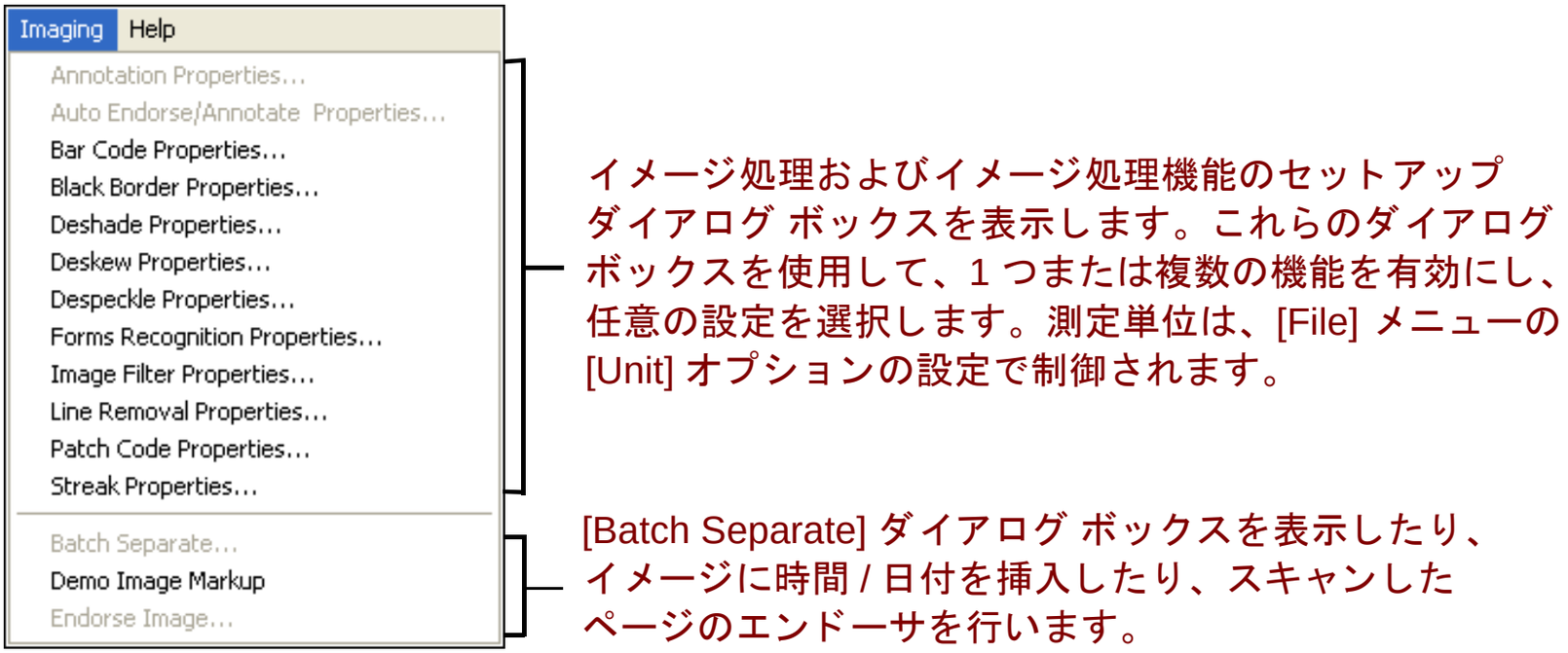


図 25 VCDemo の [Imaging] メニュー

[Help] メニュー

[Help] メニューのオプションを使用して、VCDemo に関する情報を表示できます。



図 26 VCDemo の [Help] メニュー

索引

A

Adrenaline SCSI スキャナ コントローラ , 58
  インストール , 57
  ソフトウェアのインストール , 14
Adrenaline イメージ プロセス エンジン (AIPE), 6, 78
Ascent Capture
  Kofax Capture を参照

C

Component Installer, 5, 23

F

FireWire
  FireWire について , 8
  インストール , 46
  インターフェイス , 10
  ドライバのインストール , 47

I

ISIS
  ISIS について , 8

K

Kofax Capture (旧称 : Ascent Capture), 11
Kofax スキャナ設定ユーティリティ , 23

M

Microsoft .NET framework, 7, 64

P

PPM (Page per minute), 2

S

SCSI スキャナ コントローラ , 44
  Adrenaline, 58
  インストール , 14
  動作保証あり , 10

T

TWAIN
  TWAIN について , 8
  インストール , 46

U

USB インターフェイス , 10
USB ドライバ
  インストール , 47

USB について , 8
USB のインストール , 46

V

VRS
  アップグレード , 14
  アンインストール , 61
  インストール手順 , 14
  削除 , 61
  ライセンス アクティベーションの解除 , 65, 67
VRS Component Installer, 5, 23
VRS 基本 , 2, 26
VRS デスクトップ プロダクティビティ , 10
VRS のアップグレード , 14
VRS のアンインストール , 61
VRS の削除 , 61
VRS プロフェッショナル ライセンス
  デスクトップ スキャナ , 2
  プロダクション スキャナ , 2
  ワークグループ スキャナ , 2
VRS プロフェッショナル機能 , 2, 3
VRS ライセンスのカテゴリ , 2

W

Windows 2000 Professional, 9
Windows Vista, 9, 15
Windows XP Professional, 9

あ

アクティベーション
  インターネット接続 , 34
  ライセンス , 24
アクティベーションの解除
  インターネット未接続 , 67
  ライセンス , 65, 67
アップデートの自動確認 , 51

い

インストール
  FireWire ドライバ , 46
  TWAIN ドライバ , 46
  USB ドライバ , 46
  VRS ソフトウェア , 14
  スキャニング アプリケーション , 50
インストール手順 , 14
インターフェイス , 10

お

オペレーティング システム , 9

か

傾き補正 (カラー), 78

き

基本ライセンス , 2

こ

互換性のあるスキャナ , 3
コントローラ
　スキャナ , 10, 44

さ

サポート オプション , ix

し

システムの推奨要件 , 7
システム要件 , 7
処理能力、スキャナ , 2

す

スキャナ
　互換性 , 3
　動作保証あり , 3
　動作保証なし , 3
スキャナ コントローラ , 10, 44
スキャナ処理能力 , 2
スキャナ設定ユーティリティ , 23
スキャナの接続
　確認 , 48
スキャニング アプリケーション
　インストール , 50
スキャン ソース
　Adrenaline スキャナ コントローラ , 60

せ

製品アップデート , 51
製品アップデートの確認 , 51
接続
　スキャナ , 48
セットアップ
　Adrenaline SCSI スキャナ コントローラ , 57

て

テクニカル サポート , ix
デスクトップ プロダクティビティ , 10
デバイスのイベント
　無効 , 48
デモ モード , 18, 20, 30, 32

と

動作保証されたインターフェイス , 10
動作保証されたスキャナ コントローラ , 10
動作保証されたスキャナと動作保証なしのスキャナ , 3
動作保証されていないスキャナ , 3, 60
登録
　インターネット未接続 , 40

ライセンス , 28, 37
ドキュメント , vii
取り付け
SCSI スキャナ コントローラ , 44
スキャナ , 45
トレーニング , viii

は

パッチ コード認識 (カラー), 78

ひ

評価モード , 31

ら

ライセンス
アクティベーション , 24
アクティベーションの解除 , 65, 67
カテゴリ , 2
デモ モード , 18, 20, 30, 32
登録 , 28, 37
評価モード , 31
ライセンス コード , 26